

注3

大学番号：032

[平成30年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

一橋大学大学院 経営管理研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人一橋大学
令和2年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院経営管理研究科

＜経営管理専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	35

＜国際企業戦略専攻（専門職学位課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	39
2. 授業科目の概要	43
3. 施設・設備の整備状況、経費	53
4. 既設大学等の状況	55
5. 教員組織の状況	59
6. 附帯事項等に対する履行状況等	69
7. その他全般的事項	71

＜国際企業戦略専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	75
2. 授業科目の概要	79
3. 施設・設備の整備状況、経費	83
4. 既設大学等の状況	85
5. 教員組織の状況	89
6. 附帯事項等に対する履行状況等	95
7. その他全般的事項	97

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 一橋大学

(2) 大 学 名
一橋大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒186-8601
東京都国立市中2-1
〒101-8439
東京都千代田区一ツ橋2-1-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(タデヌマ コウイチ) 蓼沼 宏一 (平成26年12月)		
学 部 長	(ハチヤ トヨヒコ) 蜂谷 豊彦 (平成30年4月)	(タナカ カズヒロ) 田中 一弘 (平成31年1月)	前任の研究科長が副学長に就任したことに伴う交代 (平成31年1月1日(元))

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経営管理研究科 経営管理専攻 (博士後期課程) 博士(商学) 又は 博士(経営)	経済学関係	3年	26人	年次人	78人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	26人 (-) [-]		26人 (-) [-]		26人 (-) [-]		0.89倍	-	
志願者数	41 (-) [7]	- (-) [-]	43 (-) [9]	- (-) [-]	41 (-) [11]	- (-) [-]			
受験者数	41 (-) [7]	- (-) [-]	43 (-) [9]	- (-) [-]	41 (-) [11]	- (-) [-]			
合格者数	25 (-) [4]	- (-) [-]	24 (-) [4]	- (-) [-]	21 (-) [6]	- (-) [-]			
B 入学者数	25 (-) [4]	- (-) [-]	24 (-) [3]	- (-) [-]	21 (-) [6]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	0.96		0.92		0.81				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
			春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次			25 [4] (一)	— [—] (一)	24 [3] (一)	— [—] (一)	21 [6] (一)	— [—] (一)	
2 年次					25 [4] (一)	— [—] (一)	24 [3] (一)	— [—] (一)	
3 年次							24 [4] (一)	— [—] (一)	
計			25 [4] (—)		49 [7] (—)		69 [13] (—)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	25 人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	49 人	1 人	平成30年度	1 人	人	就職
			令和元年度	人	人	
令和2年度	69 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合 計		1 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{25} = 0\%$$

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a)	=	$\frac{1}{49}$	=	2.04	%
---------------	---	----------------	---	------	---

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{69} = 0\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営管理研究科 経営管理専攻 博士後期課程>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
コア 科目	アカデミック・ライティング アカデミック・プレゼンテー ション	1・2・3①～② 1・2・3③～④		2 2							1 1
	小計(2科目)	-									
選 択 科 目	労務管理特論Ⅱ	1・2・3①～②		2			1				
	経営史特論Ⅱ	1・2・3①～②		2		1					
	消費者行動特論Ⅱ	1・2・3①～②		2		1					
	マーケティング戦略特論Ⅱ	1・2・3①～②		2			1				
	実証的会計分析Ⅱ	1・2・3③～④		2			1				
	会計学史Ⅱ	1・2・3③～④		2		1					
	管理会計特論Ⅱ	1・2・3①～②		2		1					
	原価計算特論Ⅱ	1・2・3①～②		2		1					
	国際金融特論Ⅱ	1・2・3③～④		2		1					
	金融システム特論Ⅱ	1・2・3③～④		2			1				
	金融数理特論Ⅱ	1・2・3①～②		2		1					
	技術戦略特論Ⅱ	1・2・3①～②		2			1				
	知的財産特論Ⅱ	1・2・3③～④		2		1					
	アントレプレナーシップⅡ	1・2・3③～④		2		1					

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
コア 科目	アカデミック・ライティング 特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2				1			
	アカデミック・プレゼンテー ション特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2							1
	アカデミック・リーディング 特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2				1			
	研究方法特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	データ分析特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	文献精読特論(Ph.D)	1・2・3①～ ②、③～④		2		1	1				
	ビジネス・エコノミクス特論 (Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	小計(7科目)										
選 択 科 目	労務管理特論(Ph.D)(未開 講)	1・2・3③～④		2		1					
	経営史特論(Ph.D)(未開 講)	1・2・3③～④		2		1					
	経営組織特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2			1				
	経営戦略特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	財務管理特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	企業システム特論(Ph.D) (未開講)	1・2・3①～②		2		1					
	消費者行動特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	マーケティング戦略特論 (Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	マーケティング・リサーチ 特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2				1			
	マーケティング特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	特別講義(International Market Research Method)(Ph.D)	1・2・3④		1							1
	特別講義(デザイン・リ サーチ)(Ph.D)(未開講)	1・2・3④		1							1
	特別講義(情報技術経営 のフロンティア)(Ph.D)(未 開講)	1・2・3④		1							1
	実証的会計分析特論 (Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	会計学史特論(Ph.D)(未開 講)	1・2・3①～②		2		1					
	管理会計特論(Ph.D)(未開 講)	1・2・3①～②		2		1					
	原価計算特論(Ph.D)(未開 講)	1・2・3①～②		2		1					
	管理会計システム特論 (Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	監査特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	財務会計特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	国際金融特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	金融システム特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	金融数理特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	企業金融特論(Ph.D)(未開 講)	1・2・3③～④		2		1					
	技術戦略特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1		1			
	知的財産特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		2					
	アントレプレナーシップ特 論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	Finance Special Field A(Ph.D)(未開講)	1・2・3④		1							1
	Finance Special Field B(Ph.D)(未開講)	1・2・3④		1							1

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選択科目											
	応用ミクロ経済分析特論Ⅱ	1・2・3③～④		2		1					
	文化分析Ⅱ	1・2・3①～②		2		1					
	商業文化論Ⅱ	1・2・3③～④		2		1					
	スポーツ・マネジメントⅡ	1・2・3①～②		2		1					
	コンピュータ・シミュレーションⅡ	1・2・3③～④		2			1				
	資産価格理論	1・2・3①～②		1		1					
	金融市場の計量ファイナンス	1・2・3①～②		1		1					
	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ	1・2・3①～②		1		1					
	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ	1・2・3①～②		1			1				
	小計(23科目)	－									
演習 学術専門群	演習(1年生)	1①～④	6			34	17	3			
	演習(2年生)	2①～④	6			34	17	3			
	演習(3年生)	3①～④	6			34	17	3			
	副演習(1年生)	1①～④		4		34	17	3			
	副演習(2年生)	2①～④		4		34	17	3			
	副演習(3年生)	3①～④		4		34	17	3			
	小計(6科目)	－									
演習 金融専門群	演習(1年生)	1①～②		2		5	5				
	演習(1年生)	1③～④		2		5	5				
	演習(2年生)	2①～②		2		5	5				
	演習(2年生)	2③～④		2		5	5				
	演習(3年生)	3①～②		2		5	5				
	演習(3年生)	3③～④		2		5	5				
	小計(6科目)	－									
合計(37科目)		－									
卒業要件及び履修方法											
【研究者養成コース】3年以上在学し、20単位以上(学術専門群の演習18単位以上を含む。)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
【金融戦略・経営財務プログラム】3年以上在学し、金融専門群の演習12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選択科目	イノベーション経営特論(Ph.D)(未開講)	1・2・3③～④		2		1					
	イノベーション経済特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	特別講義(イノベーションの国際比較A)(Ph.D)(未開講)	1・2・3①～②		2							1
	特別講義(イノベーションの国際比較B:アジアとイノベーション)(Ph.D)	1・2・3③～④		2				1			
	先端科学技術とイノベーション(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1	1				
	イノベーションと政策・制度(Ph.D)	1・2・3③～④		2		2					
	イノベーションと経営・経済・政策(Ph.D)	1・2・3①～②		2		2	1				
	イノベーション研究方法論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		2	2				
	イノベーションリサーチセミナーⅠ(Ph.D)	1・2・3①～②		2		2					
	イノベーションリサーチセミナーⅡ(Ph.D)	1・2・3③～④		2		2					
	商業文化特論(Ph.D)(未開講)	1・2・3①～②		2		1					
	スポーツ・マネジメント特論(Ph.D)(未開講)	1・2・3①～②		2			1				
	コンピュータ・シミュレーション特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	資産価格特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	資産価格理論	1・2・3①		1		1					
	金融市場の計量ファイナンス(未開講)	1・2・3①		1		1					
	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ(未開講)	1・2・3②		1			1				
	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ	1・2・3④		1		1					
小計(47科目)		－									
演習 学術専門群	演習(1年生)	1①～④	6			30	18	2			
	演習(2年生)	2①～④	6			30	18	2			
	演習(3年生)	3①～④	6			30	18	2			
	副演習(1年生)	1①～④		4		31	18	3			
	副演習(2年生)	2①～④		4		31	18	3			
	副演習(3年生)	3①～④		4		31	18	3			
	小計(6科目)										
演習 金融専門群	演習(1年生)	1①～②		2		7	2				
	演習(1年生)	1③～④		2		7	2				
	演習(2年生)	2①～②		2		7	2				
	演習(2年生)	2③～④		2		7	2				
	演習(3年生)	3①～②		2		7	2				
	演習(3年生)	3③～④		2		7	2				
	小計(6科目)	－									
合計(66科目)		－									
卒業要件及び履修方法											
【研究者養成コース】3年以上在学し、20単位以上(学術専門群の演習18単位以上を含む。)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
【金融戦略・経営財務プログラム】3年以上在学し、金融専門群の演習12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
コア科目	アカデミック・ライティング研究	1・2・3①～②		2							1
	アカデミック・プレゼンテーション研究	1・2・3③～④		2							1
	アカデミック・リーディング研究	1・2・3①～②		2				1			
	研究方法研究	1・2・3①～②		2			1				
	データ分析研究	1・2・3①～②		2			1				
	文献精読研究	1・2・3③～④		2		1		1			
	ビジネス・エコノミクス研究	1・2・3③～④		2		1					
	小計(7科目)	—									
選択科目	労務管理研究(未開講)	1・2・3①～②		2			1				
	経営史研究(未開講)	1・2・3①～②		2		1					
	経営組織研究	1・2・3③～④		2			1				
	経営戦略研究	1・2・3①～②		2			1				
	財務管理研究	1・2・3③～④		2		1					
	企業システム研究	1・2・3③～④		2		1					
	消費者行動研究(未開講)	1・2・3①～②		2		1					
	マーケティング戦略研究	1・2・3③～④		2			1				
	マーケティング・リサーチ研究	1・2・3①～②		2			1				
	マーケティング研究	1・2・3①～②		2		1					
	特別講義(International Market Research Method)	1・2・3④		1							1
	実証的会計分析研究(未開講)	1・2・3③～④		2			1				
	会計学史研究	1・2・3①～②		2		1					
	管理会計研究(未開講)	1・2・3①～②		2		1					
	原価計算研究	1・2・3①～②		2		1					
	管理会計システム研究	1・2・3③～④		2		1					
	監査研究	1・2・3①～②		2		1					
	財務会計研究	1・2・3①～②		2			1				
	国際金融研究	1・2・3③～④		2		1					
	金融システム研究	1・2・3①～②		2		1					
	金融数理研究(未開講)	1・2・3①～②		2		1					
	企業金融研究	1・2・3①～②		2		1					
	技術戦略研究(未開講)	1・2・3①～②		2			1				
	知的財産研究	1・2・3①～②		2		2					
	アントレプレナーシップ研究	1・2・3①～②		2			1				
	イノベーション経営研究	1・2・3③～④		2		1					
	イノベーション経済研究	1・2・3③～④		2			1				
	文化分析研究	1・2・3③～④		2			1				
	商業文化研究	1・2・3①～②		2			1				
	スポーツ・マネジメント研究	1・2・3①～②		2			1				
	コンピュータ・シミュレーション研究	1・2・3①～②		2		1					
	資産価格研究	1・2・3①～②		2			1				
	資産価格理論	1・2・3①		1		1					
	金融市場の計量ファイナンス	1・2・3①		1		1					
	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ	1・2・3②		1			1				
	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ	1・2・3④		1		1					
	小計(36科目)	—									

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
コア科目	アカデミック・ライティング特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2							1
	アカデミック・プレゼンテーション特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2							1
	アカデミック・リーディング特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2				1			
	研究方法特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	データ分析特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	文献精読特論(Ph.D)	1・2・3①～②、③～④		2		1	1				
	ビジネス・エコノミクス特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2			1				
	小計(7科目)	—									
選択科目	労務管理特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	経営史特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	経営組織特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	経営戦略特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	財務管理特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	企業システム特論(Ph.D)(未開講)	1・2・3③～④		2		1					
	消費者行動特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	マーケティング戦略特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	マーケティング・リサーチ特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2			1				
	マーケティング特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	特別講義(International Market Research Method)(Ph.D)	1・2・3④		1							1
	実証的会計分析特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	会計学史特論(Ph.D)(未開講)	1・2・3③～④		2		1					
	管理会計特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	原価計算特論(Ph.D)(未開講)	1・2・3①～②		2		1					
	管理会計システム特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	監査特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	財務会計特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	国際金融特論(Ph.D)(未開講)	1・2・3③～④		2		1					
	金融システム特論(Ph.D)(未開講)	1・2・3③～④		2		1					
	金融数理特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2			1				
	企業金融特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	技術戦略特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	知的財産特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		2					
	アントレプレナーシップ特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	イノベーション経営特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1					
	イノベーション経済特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	特別講義(イノベーションの国際比較A)(Ph.D)	1・2・3①～②		2							1
	先端科学技術とイノベーション(Ph.D)	1・2・3③～④		2		1	1				
	イノベーションと政策・制度(Ph.D)	1・2・3①～②		2		2					
	イノベーションと経営・経済・政策(Ph.D)	1・2・3①～②		2		2	1				
	イノベーション研究方法論(Ph.D)	1・2・3③～④		2		2	1				
	イノベーションリサーチセミナーⅠ(Ph.D)	1・2・3①～②		2		2					
	イノベーションリサーチセミナーⅡ(Ph.D)	1・2・3①～②		2		2					
	文化分析特論(Ph.D)	1・2・3③～④		2			1				
	商業文化特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	スポーツ・マネジメント特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2			1				
	コンピュータ・シミュレーション特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2		1					
	資産価格特論(Ph.D)	1・2・3①～②		2							1
	資産価格理論	1・2・3①		1		1					
	金融市場の計量ファイナンス	1・2・3①		1		1					
	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ	1・2・3②		1			1				
	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ	1・2・3④		1		1					
	小計(43科目)	—									

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
演習 学術専門群	演習(1年生)	1①～④	6			34	18	2			
	演習(2年生)	2①～④	6			34	18	2			
	演習(3年生)	3①～④	6			34	18	2			
	副演習(1年生)	1①～④		4		35	18	2			
	副演習(2年生)	2①～④		4		35	18	2			
	副演習(3年生)	3①～④		4		35	18	2			
	小計(6科目)	－									
演習 金融専門群	演習(1年生)	1①～②		2		5	4				
	演習(1年生)	1③～④		2		5	4				
	演習(2年生)	2①～②		2		5	4				
	演習(2年生)	2③～④		2		5	4				
	演習(3年生)	3①～②		2		5	4				
	演習(3年生)	3③～④		2		5	4				
	小計(6科目)	－									
合計(55科目)			－								
卒業要件及び履修方法											
【研究者養成コース】3年以上在学し、20単位以上(学術専門群の演習18単位以上を含む。)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
【金融戦略・経営財務プログラム】3年以上在学し、金融専門群の演習12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
演習 学術専門群	演習(1年生)	1①～④	6			33	20	1			
	演習(2年生)	2①～④	6			33	20	1			
	演習(3年生)	3①～④	6			33	20	1			
	副演習(1年生)	1①～④		4		34	20	1			
	副演習(2年生)	2①～④		4		34	20	1			
	副演習(3年生)	3①～④		4		34	20	1			
	小計(6科目)	－									
演習 金融専門群	演習(1年生)	1①～②		2		6	3				
	演習(1年生)	1③～④		2		6	3				
	演習(2年生)	2①～②		2		6	3				
	演習(2年生)	2③～④		2		6	3				
	演習(3年生)	3①～②		2		6	3				
	演習(3年生)	3③～④		2		6	3				
	小計(6科目)	－									
合計(62科目)			－								
卒業要件及び履修方法											
【研究者養成コース】3年以上在学し、20単位以上(学術専門群の演習18単位以上を含む。)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
【金融戦略・経営財務プログラム】3年以上在学し、金融専門群の演習12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

○教育内容に鑑み、次の授業科目の名称をより適切な名称に変更する。

- ・「アカデミック・ライティング」を「アカデミック・ライティング研究」に変更。
- ・「アカデミック・プレゼンテーション」を「アカデミック・プレゼンテーション研究」に変更。
- ・「労務管理特論Ⅱ」を「労務管理研究」に変更。
- ・「経営史特論Ⅱ」を「経営史研究」に変更。
- ・「消費者行動特論Ⅱ」を「消費者行動研究」に変更。
- ・「マーケティング戦略特論Ⅱ」を「マーケティング戦略研究」に変更。
- ・「実証的会計分析Ⅱ」を「実証的会計分析研究」に変更。
- ・「会計学史Ⅱ」を「会計学史研究」に変更。
- ・「管理会計特論Ⅱ」を「管理会計研究」に変更。
- ・「原価計算特論Ⅱ」を「原価計算研究」に変更。
- ・「国際金融特論Ⅱ」を「国際金融研究」に変更。
- ・「金融システム特論Ⅱ」を「金融システム研究」に変更。
- ・「金融数理特論Ⅱ」を「金融数理研究」に変更。
- ・「技術戦略特論Ⅱ」を「技術戦略研究」に変更。
- ・「知的財産特論Ⅱ」を「知的財産研究」に変更。
- ・「アントレプレナーシップⅡ」を「アントレプレナーシップ研究」に変更。
- ・「文化分析Ⅱ」を「文化分析研究」に変更。
- ・「商業文化論Ⅱ」を「商業文化研究」に変更。
- ・「スポーツ・マネジメントⅡ」を「スポーツ・マネジメント研究」に変更。
- ・「コンピュータ・シミュレーションⅡ」を「コンピュータ・シミュレーション研究」に変更。

○教育内容の充実を図るため、次の科目を追加で開講する。

- ・「アカデミック・リーディング研究」
- ・「研究方法研究」
- ・「データ分析研究」
- ・「文献精読研究」
- ・「ビジネス・エコノミクス研究」
- ・「経営組織研究」
- ・「経営戦略研究」
- ・「財務管理研究」
- ・「企業システム研究」
- ・「マーケティング・リサーチ研究」
- ・「マーケティング研究」
- ・「特別講義（International Market Research Method）」
- ・「管理会計システム研究」
- ・「監査研究」
- ・「財務会計研究」
- ・「企業金融研究」
- ・「イノベーション経営研究」
- ・「イノベーション経済研究」
- ・「資産価格研究」

○教育内容に鑑み、次の科目について適切な開講時期へ調整する。

- ・「マーケティング戦略研究」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「会計学史研究」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「金融システム研究」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「知的財産研究」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「アントレプレナーシップ研究」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「文化分析研究」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「商業文化研究」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「コンピュータ・シミュレーション研究」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「資産価格理論」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3①」に変更。
- ・「金融市場の計量ファイナンス」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3①」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3②」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3④」に変更。

○担当教員見直しのため、次の科目の教員配置を変更する。

- ・「金融システム研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「知的財産研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・「アントレプレナーシップ研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「文化分析研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「商業文化研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「スポーツ・マネジメント研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「コンピュータ・シミュレーション研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「演習（1年生）（学術専門群）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授34・准教授18・講師2」に変更。
- ・「演習（2年生）（学術専門群）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授34・准教授18・講師2」に変更。
- ・「演習（3年生）（学術専門群）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授34・准教授18・講師2」に変更。
- ・「副演習（1年生）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授35・准教授18・講師2」に変更。
- ・「副演習（2年生）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授35・准教授18・講師2」に変更。
- ・「副演習（3年生）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授35・准教授18・講師2」に変更。
- ・「演習（1年生）（金融専門群）」の専任教員等の配置を「教授5・准教授5」から「教授5・准教授4」に変更。
- ・「演習（2年生）（金融専門群）」の専任教員等の配置を「教授5・准教授5」から「教授5・准教授4」に変更。
- ・「演習（3年生）（金融専門群）」の専任教員等の配置を「教授5・准教授5」から「教授5・准教授4」に変更。

【令和元年度】

○修士課程科目との区分を明確にするため、次の授業科目の名称をより適切な名称に変更する。

- ・「アカデミック・ライティング」を「アカデミック・ライティング特論(Ph. D)」に変更。
- ・「アカデミック・プレゼンテーション」を「アカデミック・プレゼンテーション特論(Ph. D)」に変更。
- ・「労務管理特論Ⅱ」を「労務管理特論(Ph. D)」に変更。
- ・「経営史特論Ⅱ」を「経営史特論(Ph. D)」に変更。
- ・「消費者行動特論Ⅱ」を「消費者行動特論(Ph. D)」に変更。
- ・「マーケティング戦略特論Ⅱ」を「マーケティング戦略特論(Ph. D)」に変更。
- ・「実証的会計分析Ⅱ」を「実証的会計分析特論(Ph. D)」に変更。
- ・「会計学史Ⅱ」を「会計学史特論(Ph. D)」に変更。
- ・「管理会計特論Ⅱ」を「管理会計特論(Ph. D)」に変更。
- ・「原価計算特論Ⅱ」を「原価計算特論(Ph. D)」に変更。
- ・「国際金融特論Ⅱ」を「国際金融特論(Ph. D)」に変更。
- ・「金融システム特論Ⅱ」を「金融システム特論(Ph. D)」に変更。
- ・「金融数理特論Ⅱ」を「金融数理特論(Ph. D)」に変更。
- ・「技術戦略特論Ⅱ」を「技術戦略特論(Ph. D)」に変更。
- ・「知的財産特論Ⅱ」を「知的財産特論(Ph. D)」に変更。
- ・「アントレプレナーシップⅡ」を「アントレプレナーシップ特論(Ph. D)」に変更。
- ・「文化分析Ⅱ」を「文化分析特論(Ph. D)」に変更。
- ・「商業文化論Ⅱ」を「商業文化特論(Ph. D)」に変更。
- ・「スポーツ・マネジメントⅡ」を「スポーツ・マネジメント特論(Ph. D)」に変更。
- ・「コンピュータ・シミュレーションⅡ」を「コンピュータ・シミュレーション特論(Ph. D)」に変更。

○教育内容の充実を図るため、次の科目を追加で開講する。

- ・「アカデミック・リーディング特論(Ph. D)」
- ・「研究方法特論(Ph. D)」
- ・「データ分析特論(Ph. D)」
- ・「文献精読特論(Ph. D)」
- ・「ビジネス・エコノミクス特論(Ph. D)」
- ・「経営組織特論(Ph. D)」
- ・「経営戦略特論(Ph. D)」
- ・「財務管理特論(Ph. D)」
- ・「企業システム特論(Ph. D)」
- ・「マーケティング・リサーチ特論(Ph. D)」
- ・「マーケティング特論(Ph. D)」
- ・「特別講義(International Market Research Method)(Ph. D)」
- ・「管理会計システム特論(Ph. D)」
- ・「監査特論(Ph. D)」
- ・「財務会計特論(Ph. D)」
- ・「企業金融特論(Ph. D)」
- ・「イノベーション経営特論(Ph. D)」
- ・「イノベーション経済特論(Ph. D)」
- ・「特別講義(イノベーションの国際比較A)(Ph. D)」
- ・「先端科学技術とイノベーション(Ph. D)」
- ・「イノベーションと政策・制度(Ph. D)」
- ・「イノベーションと経営・経済・政策(Ph. D)」
- ・「イノベーション研究方法論(Ph. D)」
- ・「イノベーションリサーチセミナーⅠ(Ph. D)」
- ・「イノベーションリサーチセミナーⅡ(Ph. D)」
- ・「資産価格特論(Ph. D)」

○教育内容に鑑み、次の科目について適切な開講時期へ調整する。

- ・「アカデミック・プレゼンテーション特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「労務管理特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「経営史特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「消費者行動特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「マーケティング戦略特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「実証的会計分析特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「金融数理特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「技術戦略特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「知的財産特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「アントレプレナーシップ特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「文化分析特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「商業文化特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「コンピュータ・シミュレーション特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「資産価格理論」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3①」に変更。
- ・「金融市場の計量ファイナンス」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3①」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3②」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3④」に変更。

○担当教員見直しのため、次の科目の教員配置を変更する。

- ・「労務管理特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「マーケティング戦略特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「実証的会計分析特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「金融システム特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「金融数理特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「技術戦略特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「知的財産特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・「アントレプレナーシップ特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「文化分析特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「スポーツ・マネジメント特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「コンピュータ・シミュレーション特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- ・「演習（1年生）（学術専門群）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授33・准教授20・講師1」に変更。
- ・「演習（2年生）（学術専門群）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授33・准教授20・講師1」に変更。
- ・「演習（3年生）（学術専門群）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授33・准教授20・講師1」に変更。
- ・「副演習（1年生）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授34・准教授20・講師1」に変更。
- ・「副演習（2年生）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授34・准教授20・講師1」に変更。
- ・「副演習（3年生）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師3」から「教授34・准教授20・講師1」に変更。
- ・「演習（1年生）（金融専門群）」の専任教員等の配置を「教授5・准教授5」から「教授6・准教授3」に変更。
- ・「演習（2年生）（金融専門群）」の専任教員等の配置を「教授5・准教授5」から「教授6・准教授3」に変更。
- ・「演習（3年生）（金融専門群）」の専任教員等の配置を「教授5・准教授5」から「教授6・准教授3」に変更。

【令和２年度】

○修士課程科目との区分を明確にするため、次の授業科目の名称をより適切な名称に変更する。

- ・「アカデミック・ライティング」を「アカデミック・ライティング特論(Ph. D)」に変更。
- ・「アカデミック・プレゼンテーション」を「アカデミック・プレゼンテーション特論(Ph. D)」に変更。
- ・「労務管理特論Ⅱ」を「労務管理特論(Ph. D)」に変更。
- ・「経営史特論Ⅱ」を「経営史特論(Ph. D)」に変更。
- ・「消費者行動特論Ⅱ」を「消費者行動特論(Ph. D)」に変更。
- ・「マーケティング戦略特論Ⅱ」を「マーケティング戦略特論(Ph. D)」に変更。
- ・「実証的会計分析Ⅱ」を「実証的会計分析特論(Ph. D)」に変更。
- ・「会計学史Ⅱ」を「会計学史特論(Ph. D)」に変更。
- ・「管理会計特論Ⅱ」を「管理会計特論(Ph. D)」に変更。
- ・「原価計算特論Ⅱ」を「原価計算特論(Ph. D)」に変更。
- ・「国際金融特論Ⅱ」を「国際金融特論(Ph. D)」に変更。
- ・「金融システム特論Ⅱ」を「金融システム特論(Ph. D)」に変更。
- ・「金融数理特論Ⅱ」を「金融数理特論(Ph. D)」に変更。
- ・「技術戦略特論Ⅱ」を「技術戦略特論(Ph. D)」に変更。
- ・「知的財産特論Ⅱ」を「知的財産特論(Ph. D)」に変更。
- ・「アントレプレナーシップⅡ」を「アントレプレナーシップ特論(Ph. D)」に変更。
- ・「商業文化論Ⅱ」を「商業文化特論(Ph. D)」に変更。
- ・「スポーツ・マネジメントⅡ」を「スポーツ・マネジメント特論(Ph. D)」に変更。
- ・「コンピュータ・シミュレーションⅡ」を「コンピュータ・シミュレーション特論(Ph. D)」に変更。

○教育内容の充実を図るため、次の科目を追加で開講する。

- ・「アカデミック・リーディング特論(Ph. D)」
- ・「研究方法特論(Ph. D)」
- ・「データ分析特論(Ph. D)」
- ・「文献精読特論(Ph. D)」
- ・「ビジネス・エコノミクス特論(Ph. D)」
- ・「経営組織特論(Ph. D)」
- ・「経営戦略特論(Ph. D)」
- ・「財務管理特論(Ph. D)」
- ・「企業システム特論(Ph. D)」
- ・「マーケティング・リサーチ特論(Ph. D)」
- ・「マーケティング特論(Ph. D)」
- ・「特別講義（International Market Research Method）(Ph. D)」
- ・「特別講義（デザイン・リサーチ）(Ph. D)」
- ・「特別講義（情報技術経営のフロンティア）(Ph. D)」
- ・「管理会計システム特論(Ph. D)」
- ・「監査特論(Ph. D)」
- ・「財務会計特論(Ph. D)」
- ・「企業金融特論(Ph. D)」
- ・「Finance Special Field A(Ph. D)」
- ・「Finance Special Field B(Ph. D)」
- ・「イノベーション経営特論(Ph. D)」
- ・「イノベーション経済特論(Ph. D)」
- ・「特別講義（イノベーションの国際比較A）(Ph. D)」
- ・「特別講義（イノベーションの国際比較B：アジアとイノベーション）(Ph. D)」
- ・「先端科学技術とイノベーション(Ph. D)」
- ・「イノベーションと政策・制度(Ph. D)」
- ・「イノベーションと経営・経済・政策(Ph. D)」
- ・「イノベーション研究方法論(Ph. D)」
- ・「イノベーションリサーチセミナーⅠ(Ph. D)」
- ・「イノベーションリサーチセミナーⅡ(Ph. D)」
- ・「資産価格特論(Ph. D)」

○教育内容に鑑み、次の科目について適切な開講時期へ調整する。

- ・「アカデミック・プレゼンテーション特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「労務管理特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「経営史特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「マーケティング戦略特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「実証的会計分析特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「会計学史特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「技術戦略特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」へ変更。
- ・「知的財産特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「アントレプレナーシップ特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「商業文化特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「コンピュータ・シミュレーション特論(Ph. D)」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」へ変更。
- ・「資産価格理論」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3①」に変更。
- ・「金融市場の計量ファイナンス」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3①」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3②」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3④」に変更。

○担当教員見直しのため、次の科目の教員配置を変更する。

- ・「アカデミック・ライティング特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・「労務管理特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「マーケティング戦略特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「実証的会計分析特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「金融システム特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「技術戦略特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・「知的財産特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・「アントレプレナーシップ特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「スポーツ・マネジメント特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「コンピュータ・シミュレーション特論(Ph. D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- ・「演習（１年生）（学術専門群）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師３」から「教授30・准教授18・講師２」に変更。
- ・「演習（２年生）（学術専門群）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師３」から「教授30・准教授18・講師２」に変更。
- ・「演習（３年生）（学術専門群）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師３」から「教授30・准教授18・講師２」に変更。
- ・「副演習（１年生）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師３」から「教授31・准教授18・講師３」に変更。
- ・「副演習（２年生）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師３」から「教授31・准教授18・講師３」に変更。
- ・「副演習（３年生）」の専任教員等の配置を「教授34・准教授17・講師３」から「教授31・准教授18・講師３」に変更。
- ・「演習（１年生）（金融専門群）」の専任教員等の配置を「教授５・准教授５」から「教授７・准教授２」に変更。
- ・「演習（２年生）（金融専門群）」の専任教員等の配置を「教授５・准教授５」から「教授７・准教授２」に変更。
- ・「演習（３年生）（金融専門群）」の専任教員等の配置を「教授５・准教授５」から「教授７・准教授２」に変更。

- （注）・ ２（１）一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
3 科目	34 科目	0 科目	37 科目	3 科目 []	63 科目 [+29]	0 科目 []	66 科目 [+29]	

- （注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	労務管理特論 (Ph. D)	2	1・2・3③～④	専門	選択	担当教員が国際認証に必要な博士後期課程科目を開講するための要件を満たしていないため。
2	経営史特論 (Ph. D)	2	1・2・3③～④	専門	選択	担当教員が国際認証に必要な博士後期課程科目を開講するための要件を満たしていないため。
3	企業システム特論 (Ph. D)	2	1・2・3①～②	専門	選択	担当教員が国際認証に必要な博士後期課程科目を開講するための要件を満たしていないため。
4	特別講義（デザイン・リサーチ） (Ph. D)	1	1・2・3④	専門	選択	外部教員招聘予定。決定したら開講する。
5	特別講義（情報技術経営のフロンティア） (Ph. D)	1	1・2・3④	専門	選択	外部教員招聘予定。決定したら開講する。
6	会計学史特論 (Ph. D)	2	1・2・3①～②	専門	選択	担当教員が国際認証に必要な博士後期課程科目を開講するための要件を満たしていないため。
7	管理会計特論 (Ph. D)	2	1・2・3①～②	専門	選択	隔年開講を予定し、次年度は開講予定。
8	原価計算特論 (Ph. D)	2	1・2・3①～②	専門	選択	担当教員が国際認証に必要な博士後期課程科目を開講するための要件を満たしていないため。
9	企業金融特論 (Ph. D)	2	1・2・3③～④	専門	選択	担当教員が国際認証に必要な博士後期課程科目を開講するための要件を満たしていないため。
10	Finance Special Field A (Ph. D)	1	1・2・3④	専門	選択	外部教員招聘予定。決定したら開講する。
11	Finance Special Field B (Ph. D)	1	1・2・3④	専門	選択	外部教員招聘予定。決定したら開講する。
12	イノベーション経営特論 (Ph. D)	2	1・2・3③～④	専門	選択	担当教員が国際認証に必要な博士後期課程科目を開講するための要件を満たしていないため。
13	特別講義（イノベーションの国際比較A） (Ph. D)	2	1・2・3①～②	専門	選択	隔年開講を予定し、次年度は開講予定。
14	商業文化特論 (Ph. D)	2	1・2・3①～②	専門	選択	担当教員が国際認証に必要な博士後期課程科目を開講するための要件を満たしていないため。
15	スポーツ・マネジメント特論 (Ph. D)	2	1・2・3①～②	専門	選択	担当教員が国際認証に必要な博士後期課程科目を開講するための要件を満たしていないため。
16	金融市場の計量ファイナンス	1	1・2・3①～②	専門	選択	隔年開講を予定し、次年度は開講予定。
17	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ	1	1・2・3①～②	専門	選択	担当教員がサバティカルのため。次年度は開講される。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	応用ミクロ経済分析特論Ⅱ	2	1・2・3③～④	専門	選択	「ビジネス・エコノミクス特論 (Ph. D)」として開講
2	文化分析特論 (Ph. D)	2	1～3	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目について、隔年開講科目については、次年度は突発的な事情が無い限り開講されることとなる。学生には学生便覧にこの旨記載の上、配布をしている。

廃止科目については、担当教員の退職により廃止。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目（3）と廃止科目（4）の計

=

19

37

=

51.35

%

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 小平体育施設 自転車移動30分 校地等整理のため(元)			
	校舎敷地	182,783㎡	㎡	㎡	182,783㎡				
	運動場用地	159,147㎡	㎡	㎡	159,147㎡				
	小 計	341,935㎡	㎡	㎡	341,935㎡				
	そ の 他	86,091㎡ 89,386㎡	㎡	㎡	86,091㎡ 89,386㎡				
	合 計	428,026㎡ 431,321㎡	㎡	㎡	428,026㎡ 431,321㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		(167,584㎡)	(㎡)	(㎡)	(167,584㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 教室等用途変更・整理のため(2)		
		78室 80室	104室 103室	10室	2室 (補助職員 0人)	5室 4室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		平成30年度専任教員5名退職、2名採用(元) 平成31年度専任教員5名退職、3名採用(元) 令和2年度専任教員5名退職、4名採用(2)		
		経理管理研究科 経営管理専攻 博士後期課程			7 0 7 1 7 6 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 電子ジャーナルは、その時点で利用可能なタイトル数であり、必ずしも永続的に所蔵しているものではない。 購入・廃棄等のため(2)	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点			
	大学全体	2,755,754 [1,290,145] 2,752,148 [1,286,367] (2,755,754 [1,290,145]) (2,733,018 [1,280,571])	24,758 [14,414] 24,771 [14,418] 24,758 [14,414] 24,771 [14,418]	25,165 [25,074] 22,126 [22,034] 25,165 [25,074] 22,126 [22,034]	552 565 (552) (555)	497 498 497 (498)	0 0		
計	2,755,754 [1,290,145] 2,752,148 [1,286,367] (2,755,754 [1,290,145]) (2,733,018 [1,280,571])	24,758 [14,414] 24,771 [14,418] 24,758 [14,414] 24,771 [14,418]	25,165 [25,074] 22,126 [22,034] 25,165 [25,074] 22,126 [22,034]	552 565 (552) (555)	497 498 497 (498)	0 0			
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 故障中の座席修理・書架の増設のため(2)	
		21,952㎡		858 853		2,912,111 2,910,833			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				研究科単位での特定不能なため、大学全体の数	
		5,950㎡		陸上競技場、ラグビー場、野球場、サッカー場、テニスコート、ホッケー場、弓道場、空手道場、武道場 等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	一 橋 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
(学部)											
商学部											
経営学科	4	137	—	548	学士 (商学)	1.06	1.05	—	昭和50	東京都国立市中2-1	
商学科	4	138	—	552	学士 (商学)	1.06	1.05	—	昭和50	東京都国立市中2-1	
経済学部											
経済学科	4	275	—	1100	学士 (経済学)	1.04	1.08	—	平成10	東京都国立市中2-1	
法学部											
法律学科	4	170	—	680	学士 (法学)	1.05	1.07	—	平成11	東京都国立市中2-1	
社会学部											
社会学科	4	235	—	940	学士 (社会学)	1.08	1.08	—	平成12	東京都国立市中2-1	
大学全体	—	955	—	3820	—	—	—	—	—	—	
(大学院)											
経営管理研究科											
修士課程											
経営管理専攻	2	159	—	318	修士 (商学) (経営)	1.04	1.06	—	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
専門職学位課程											
国際企業戦略専攻	2又は1	58	—	116	経営修士 (専門職)	0.96	—	—	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	秋入学のみ実施
博士後期課程											
経営管理専攻	3	26	—	78	博士 (商学) (経営)	0.89	0.81	—	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
国際企業戦略専攻	3	4	—	12	博士 (経営)	1.00	—	—	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	秋入学のみ実施
商学研究科											
修士課程											
経営・マーケティング専攻	2	—	—	—	修士 (商学) (経営)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
会計・金融専攻	2	—	—	—	修士 (商学) (経営)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
博士後期課程											
経営・マーケティング専攻	3	—	—	—	博士 (商学)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
会計・金融専攻	3	—	—	—	博士 (商学)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止

経済学研究科											
修士課程											
総合経済学専攻	2	82	—	164	修士 (経済学)	1.08	1.11	—	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
経済理論・経済統計専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
応用経済専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
経済史・地域経済専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成10	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
比較経済・地域開発専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成7	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
博士後期課程											
総合経済学専攻	3	22	二	66	博士 (経済学)	0.48	0.41	二	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
経済理論・経済統計専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
応用経済専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
経済史・地域経済専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成10	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
比較経済・地域開発専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成7	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
法学研究科											
修士課程											
法学・国際関係専攻	2	15	—	30	修士 (法学)	1.47	1.47	—	平成16	東京都国立市中2-1	
ビジネスロー専攻	2	36	—	72	修士 (経営法)	0.80	0.91	—	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
専門職学位課程											
法務専攻	3	85	—	255	法務博士 (専門職)	1.05	1.02	—	平成16	東京都国立市中2-1	
博士後期課程											
法学・国際関係専攻	3	26	—	78	博士 (法学)	0.46	0.73	—	平成16	東京都国立市中2-1	
ビジネスロー専攻	3	12	二	36	博士 (経営法)	0.72	0.50	二	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
社会学研究科											
修士課程											
地球社会研究専攻	2	20	—	40	修士 (社会学)	0.88	0.8	—	平成9	東京都国立市中2-1	
総合社会科学専攻	2	70	—	140	修士 (社会学)	0.87	0.95	—	平成12	東京都国立市中2-1	
博士後期課程											
地球社会研究専攻	3	6	—	18	博士 (社会学)	0.68	0.51	—	平成9	東京都国立市中2-1	
総合社会科学専攻	3	35	—	105	博士 (社会学)	0.94	1	—	平成12	東京都国立市中2-1	
言語社会研究科											
修士課程											
言語社会専攻	2	49	—	98	修士 (学術)	0.81	0.77	—	平成8	東京都国立市中2-1	
博士後期課程											
言語社会専攻	3	21	—	63	博士 (学術)	0.84	0.71	—	平成8	東京都国立市中2-1	
国際企業戦略研究科											
専門職学位課程											
経営・金融専攻	2又は1	—	—	—	経営修士 (専門職)	—	—	—	平成15	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止
修士課程											
経営法務専攻	2	—	—	—	修士 (経営法)	—	—	—	平成17	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止
博士後期課程											
経営・金融専攻	3	—	—	—	博士 (経営)	—	—	—	平成11	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止
経営法務専攻	3	—	—	—	博士 (経営法)	—	—	—	平成17	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止

国際・公共政策教育部 専門職学位課程											
国際・公共政策専攻	2又は1	55	—	110	国際・行政 修士（専門 職） 公共経済修 士（専門	1.16	1.17	—	平成17	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
大学院全体	—	781	—	1799	—	—	—	—	—	—	

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜経営管理研究科 経営管理専攻 博士後期課程＞

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	筒井 泉雄 ＜平成29年4月＞ 理学博士									
専	教授	山内 弘隆 ＜平成29年4月＞ 商学修士	専	教授	山内 弘隆 ＜平成29年4月＞ 商学修士						
		応用ミクロ経済分析特論Ⅱ 演習 副演習			演習 副演習						
専	教授	江川 雅子 ＜平成29年4月＞ 博士	専	教授	江川 雅子 ＜平成29年4月＞ 博士	専	教授	江川 雅子 ＜平成29年4月＞ 博士			
		演習 副演習			企業システム研究 演習 副演習			演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)			
専	教授	古川 一郎 ＜平成29年4月＞ 経営学修士									
		演習 副演習									
専	教授	花崎 正晴 ＜平成29年4月＞ 経済学博士	専	教授	花崎 正晴 ＜平成29年4月＞ 経済学博士	専	教授	花崎 正晴 ＜平成29年4月＞ 経済学博士			
		演習 副演習			金融システム研究 演習 副演習			企業金融特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)			
専	教授	小川 英治 ＜平成29年4月＞ 商学博士	専	教授	小川 英治 ＜平成29年4月＞ 商学博士	専	教授	小川 英治 ＜平成29年4月＞ 商学博士			
		国際金融特論Ⅱ 演習 副演習			国際金融研究 演習 副演習			文献精読特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)			
専	教授	尾畑 裕 ＜平成29年4月＞ 商学博士	専	教授	尾畑 裕 ＜平成29年4月＞ 商学博士	専	教授	尾畑 裕 ＜平成29年4月＞ 商学博士	専	教授	尾畑 裕 ＜平成29年4月＞ 商学博士
		演習 副演習			演習 副演習			演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)			演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	万代 勝信 ＜平成29年4月＞ 商学博士	専	教授	万代 勝信 ＜平成29年4月＞ 商学博士	専	教授	万代 勝信 ＜平成29年4月＞ 商学博士			
		演習 副演習						財務会計特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)			
専	教授	Christina L. Ahmadjian ＜平成29年4月＞ 経営学博士	専	教授	Christina L. Ahmadjian ＜平成29年4月＞ 経営学博士	専	教授	Christina L. Ahmadjian ＜平成29年4月＞ 経営学博士	専	教授	Christina L. Ahmadjian ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		演習 副演習			演習 副演習			Managing the SDGs – SIGMA Global Active Learning (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)			Managing the SDGs – SIGMA Global Active Learning (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	沼上 幹 ＜平成29年4月＞ 商学博士	専	教授	沼上 幹 ＜平成29年4月＞ 商学博士	専	教授	沼上 幹 ＜平成29年4月＞ 商学博士	専	教授	沼上 幹 ＜平成29年4月＞ 商学博士
		演習 副演習			演習 副演習			演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)			演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	神岡 太郎 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士
		演習 副演習
専	教授	佐々木 隆志 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		会計学史Ⅱ 演習 副演習
専	教授	峰谷 豊彦 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		演習 副演習
専	教授	三隅 隆司 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		演習 副演習
専	教授	山下 裕子 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		演習 副演習
専	教授	越智 博美 ＜平成29年 4 月＞ 人間科学博士
		文化分析Ⅱ 商業文化論Ⅱ 演習 副演習
専	教授	田村 俊夫 ＜平成29年 4 月＞ 修士
		演習 副演習
専	教授	小西 大 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習 副演習
専	教授	挽 文子 ＜平成29年 4 月＞ 修士
		管理会計特論Ⅱ 演習 副演習
専	教授	田中 一弘 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	教授	加藤 俊彦 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	教授	中野 誠 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		演習 副演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	神岡 太郎 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士
		マーケティング研究 演習 副演習
専	教授	佐々木 隆志 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		監査研究 会計学史研究 演習 副演習
専	教授	峰谷 豊彦 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		演習 副演習
専	教授	三隅 隆司 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		ビジネス・エコノミクス研究 企業金融研究 演習 副演習
専	教授	山下 裕子 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		演習 副演習
専	教授	越智 博美 ＜平成29年 4 月＞ 人間科学博士
		演習 副演習
専	教授	田村 俊夫 ＜平成29年 4 月＞ 修士
		演習 副演習
専	教授	小西 大 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習 副演習
専	教授	挽 文子 ＜平成29年 4 月＞ 修士
		演習 副演習
専	教授	田中 一弘 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	教授	加藤 俊彦 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		文献精読研究 演習 副演習
専	教授	中野 誠 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		財務管理研究 演習 副演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	神岡 太郎 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士
		マーケティング特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	佐々木 隆志 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		監査特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	峰谷 豊彦 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	三隅 隆司 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	山下 裕子 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		マーケティング戦略特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	越智 博美 ＜平成29年 4 月＞ 人間科学博士
		商業文化特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	田村 俊夫 ＜平成29年 4 月＞ 修士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	小西 大 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	挽 文子 ＜平成29年 4 月＞ 修士
		管理会計特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	田中 一弘 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	加藤 俊彦 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	中野 誠 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		財務管理特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	神岡 太郎 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士
		マーケティング特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	佐々木 隆志 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		監査特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	峰谷 豊彦 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	三隅 隆司 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	山下 裕子 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		マーケティング戦略特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	
専	教授	田村 俊夫 ＜平成29年 4 月＞ 修士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	小西 大 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	挽 文子 ＜平成29年 4 月＞ 修士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	田中 一弘 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	加藤 俊彦 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	中野 誠 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		財務管理特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鷲田 祐一 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		演習 副演習
専	教授	島本 実 ＜平成29年 4 月＞ 商学
		経営史特論Ⅱ アントレプレナーシップⅡ 演習 副演習
専	教授	福川 裕徳 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	教授	荒井 耕 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		原価計算特論Ⅱ 演習 副演習
専	教授	高岡 浩一郎 ＜平成29年 4 月＞ 数理科学博士
		金融数理特論Ⅱ 演習 副演習
専	教授	島貴 智行 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	教授	松井 剛 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		消費者行動特論Ⅱ 演習 副演習
専	教授	安田 行宏 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習 副演習
兼任	講師	熊本 方雄 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	教授	小林 健太 ＜平成29年 4 月＞ 理学博士
		演習 副演習
専	准教授	町田 みどり ＜平成29年 4 月＞ 文学修士
		演習 副演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鷲田 祐一 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		演習 副演習
専	教授	島本 実 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	教授	福川 裕徳 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	教授	荒井 耕 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		管理会計システム研究 原価計算研究 演習 副演習
専	教授	高岡 浩一郎 ＜平成29年 4 月＞ 数理科学博士
		演習 副演習
専	教授	島貴 智行 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	教授	松井 剛 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	教授	安田 行宏 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習 副演習
専	教授	熊本 方雄 ＜平成30年9月＞ 商学博士
専	教授	小林 健太 ＜平成29年 4 月＞ 理学博士
		演習 副演習
専	准教授	町田 みどり ＜平成29年 4 月＞ 文学修士
		商業文化研究 演習 副演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鷲田 祐一 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	島本 実 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	福川 裕徳 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	荒井 耕 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		管理会計システム特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
兼任	非常勤講師	高岡 浩一郎 ＜平成31年 4 月＞ 数理科学博士
専	教授	島貴 智行 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		労務管理特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	福川 恭子 ＜令和1年5月＞ 博士
		労務管理特論 (Ph. D)
専	教授	松井 剛 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	安田 行宏 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	熊本 方雄 ＜平成30年9月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	小林 健太 ＜平成29年 4 月＞ 理学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	町田 みどり ＜平成29年 4 月＞ 文学修士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鷲田 祐一 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	島本 実 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	福川 裕徳 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
専	教授	荒井 耕 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		管理会計システム特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	島貴 智行 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	福川 恭子 ＜令和1年5月＞ 博士
		文献精読特論 (Ph. D) 消費者行動特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	松井 剛 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	安田 行宏 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	熊本 方雄 ＜平成30年9月＞ 商学博士
		国際金融特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	小林 健太 ＜平成29年 4 月＞ 理学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	町田 みどり ＜平成29年 4 月＞ 文学修士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	James Routledge ＜平成29年4月＞ 博士
		実証的会計分析Ⅱ 演習 副演習
専	准教授	岡本 純也 ＜平成29年4月＞ 教育学修士
		スポーツ・マネジメントⅡ 演習 副演習
専	准教授	西野 和美 ＜平成29年4月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	文 敏鳴 ＜平成29年4月＞ 金融学博士
専	准教授	台坂 博 ＜平成29年4月＞ 理学博士
		コンピューター・シミュレーションⅡ 演習 副演習
専	准教授	中村 恒 ＜平成29年4月＞ 経済学博士
		演習 副演習
専	准教授	高見澤 秀幸 ＜平成29年4月＞ 計量ファイナンス学博士
		金融システム特論Ⅱ 演習 副演習
専	准教授	川本 玲子 ＜平成29年4月＞ 文学修士
		演習 副演習
専	准教授	加賀谷 哲之 ＜平成29年4月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	EDMAN CARL GOERAN JESPER ＜平成29年4月＞ 博士
		演習 副演習
専	准教授	河野 真太郎 ＜平成29年4月＞ 学術
		演習 副演習
専	准教授	齊木 吉隆 ＜平成29年4月＞ 数理科学博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	James Routledge ＜平成29年4月＞ 博士
		演習 副演習
専	准教授	岡本 純也 ＜平成29年4月＞ 教育学修士
		スポーツ・マネジメント研究 演習 副演習
専	准教授	西野 和美 ＜平成29年4月＞ 商学博士
		経営戦略研究 演習 副演習
専	教授	文 敏鳴 ＜平成29年4月＞ 金融学博士
専	教授	台坂 博 ＜平成29年4月＞ 理学博士
		コンピューター・シミュレーション研究 演習 副演習
専	教授	中村 恒 ＜平成29年4月＞ 経済学博士
		資産価格研究 演習 副演習
専	准教授	高見澤 秀幸 ＜平成29年4月＞ 計量ファイナンス学博士
		データ分析研究 演習 副演習
専	准教授	川本 玲子 ＜平成29年4月＞ 文学修士
		演習 副演習
専	准教授	加賀谷 哲之 ＜平成29年4月＞ 商学博士
		演習 副演習
兼任	非常勤講師	EDMAN CARL GOERAN JESPER ＜平成30年4月＞ 博士
専	准教授	河野 真太郎 ＜平成29年4月＞ 学術
		文化分析研究 演習 副演習
専	准教授	齊木 吉隆 ＜平成29年4月＞ 数理科学博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	James Routledge ＜平成29年4月＞ 博士
		実証的会計分析特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	准教授	岡本 純也 ＜平成29年4月＞ 教育学修士
		スポーツ・マネジメント特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	准教授	西野 和美 ＜平成29年4月＞ 商学博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	文 敏鳴 ＜平成29年4月＞ 金融学博士
専	教授	台坂 博 ＜平成29年4月＞ 理学博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	中村 恒 ＜平成29年4月＞ 経済学博士
兼任	非常勤講師	高見澤 秀幸 ＜平成31年4月＞ 計量ファイナンス学博士
		資産価格特論(Ph. D)
専	准教授	川本 玲子 ＜平成29年4月＞ 文学修士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	准教授	加賀谷 哲之 ＜平成29年4月＞ 商学博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	准教授	齊木 吉隆 ＜平成29年4月＞ 数理科学博士
		データ分析特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	James Routledge ＜平成29年4月＞ 博士
		実証的会計分析特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	准教授	岡本 純也 ＜平成29年4月＞ 教育学修士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	准教授	西野 和美 ＜平成29年4月＞ 商学博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	文 敏鳴 ＜平成29年4月＞ 金融学博士
専	教授	台坂 博 ＜平成29年4月＞ 理学博士
		コンピューター・シミュレーション特論（Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	中村 恒 ＜平成29年4月＞ 経済学博士
		ビジネス・エコノミクス特論(Ph. D) 金融システム特論（Ph. D)
専	准教授	加賀谷 哲之 ＜平成29年4月＞ 商学博士
		演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)
専	教授	齊木 吉隆 ＜平成29年4月＞ 数理科学博士
		金融数理特論(Ph. D) 演習(Ph. D) 副演習(Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鎌田 裕美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
専	准教授	円谷 昭一 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	坪山 雄樹 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		労務管理特論Ⅱ
専	准教授	藤原 雅俊 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	福地 宏之 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
専	准教授	上原 渉 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		マーケティング戦略特論
専	准教授	佐々木 将人 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	青木 康晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	篠原 克寿 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習 副演習
専	講師	中村 英仁 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	講師	河内山 拓磨 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鎌田 裕美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	円谷 昭一 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		財務会計研究 演習 副演習
専	准教授	坪山 雄樹 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	藤原 雅俊 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		経営組織研究
専	准教授	福地 宏之 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	上原 渉 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		マーケティング・リサーチ研究 マーケティング戦略研究 演習 副演習
専	准教授	佐々木 将人 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	青木 康晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
専	准教授	篠原 克寿 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習 副演習
専	准教授	中村 英仁 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 副演習
専	准教授	遠藤 貴宏 ＜平成30年 4 月＞ Business Studies博士
		研究方法研究 演習 副演習
専	講師	河内山 拓磨 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		文献精読研究 演習 副演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鎌田 裕美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	円谷 昭一 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
専	准教授	坪山 雄樹 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		データ分析特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	藤原 雅俊 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		経営戦略特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	福地 宏之 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	上原 渉 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		経営戦略特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	佐々木 将人 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		経営戦略特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	青木 康晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	篠原 克寿 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		金融数理特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	中村 英仁 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	遠藤 貴宏 ＜平成30年 4 月＞ Business Studies博士
		研究方法特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	河内山 拓磨 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鎌田 裕美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	円谷 昭一 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		文献精読特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	坪山 雄樹 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		経営組織特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	藤原 雅俊 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		経営戦略特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	福地 宏之 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	上原 渉 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	佐々木 将人 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	青木 康晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	篠原 克寿 ＜平成29年 4 月＞ 博士
専	准教授	中村 英仁 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	遠藤 貴宏 ＜平成30年 4 月＞ Business Studies博士
		研究方法特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	河内山 拓磨 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	李 燃 ＜平成29年 4 月＞ 博士
専	講師	秋庭 裕子 ＜平成29年 4 月＞ 教育学博士
専	教授	青島 矢一 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		演習 副演習
専	教授	江藤 学 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		知的財産特論Ⅱ 演習 副演習
専	教授	軽部 大 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		技術戦略特論Ⅱ 演習 副演習
専	教授	清水 洋 ＜平成29年 4 月＞ 経済史博士
		演習 副演習
専	教授	延岡 健太郎 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		演習 副演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	李 燃 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		アカデミック・リーディング研究
専	講師	秋庭 裕子 ＜平成29年 4 月＞ 教育学博士
専	教授	青島 矢一 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		演習 副演習
専	教授	和泉 章 ＜平成29年7月＞ 工学博士
		知的財産研究 副演習
専	教授	江藤 学 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		知的財産特論 演習 副演習
専	教授	軽部 大 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		イノベーション経営研究 演習 副演習
専	教授	清水 洋 ＜平成29年 4 月＞ 経済史博士
		演習 副演習
専	教授	延岡 健太郎 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	李 燃 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		アカデミック・リーディング特論 (Ph. D)
専	講師	秋庭 裕子 ＜平成29年 4 月＞ 教育学博士
専	講師	田頭 拓己 ＜平成31年 4 月＞ 商学博士
専	教授	青島 矢一 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		イノベーションと経営・経済・政策 (Ph. D) イノベーション研究方法論 (Ph. D) イノベーション研究方法論 (Ph. D) 技術戦略特論 (Ph. D) 先端科学技術とイノベーション (Ph. D) 先端科学技術とイノベーション (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	和泉 章 ＜平成29年7月＞ 工学博士
		副演習 (Ph. D)
専	教授	江藤 学 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		知的財産特論 (Ph. D) 先端科学技術とイノベーション (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	軽部 大 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		イノベーション経営特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鈴木 雅貴 ＜令和 2 年 4 月＞ 経済学博士
		データ分析特論 (Ph. D) 資産価格特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	福田 玄明 ＜令和 2 年 3 月＞ 学術学士
専	講師	李 燃 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		アカデミック・リーディング特論 (Ph. D)
専	講師	秋庭 裕子 ＜平成29年 4 月＞ 教育学博士
専	講師	田頭 拓己 ＜平成31年 4 月＞ 商学博士
		マーケティング・リサーチ特論 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	青島 矢一 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		イノベーションと経営・経済・政策 (Ph. D) イノベーション研究方法論 (Ph. D) イノベーション研究方法論 (Ph. D) 技術戦略特論 (Ph. D) 先端科学技術とイノベーション (Ph. D) イノベーションリサーチセミナーⅠ (Ph. D) イノベーションリサーチセミナーⅡ (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	和泉 章 ＜平成29年7月＞ 工学博士
		イノベーションと政策・制度 (Ph. D) 知的財産特論 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	江藤 学 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		知的財産特論 (Ph. D) イノベーションと政策・制度 (Ph. D) イノベーションと経営・経済・政策 (Ph. D) イノベーション研究方法論 (Ph. D) イノベーションリサーチセミナーⅠ (Ph. D) イノベーションリサーチセミナーⅡ (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	軽部 大 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	畑 宏明 ＜令和 2 年 4 月＞ 理学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大山 睦 ＜平成29年 4 月＞ 博士
専	准教授	中島 賢太郎 ＜平成29年 4 月＞ 経済学博士
		演習 副演習
専	講師	姜 秉祐 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		演習 副演習
専	講師	MALEN JOEL BAKER ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		演習 副演習
専	教授	伊藤 彰敏 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		コーポレート・ファイナンスの 実証分析Ⅱ 演習
専	教授	大橋 和彦 ＜平成29年 4 月＞ 経済学博士
		演習
専	准教授	中川 秀敏 ＜平成29年 4 月＞ 数理科学博士
		演習
専	教授	中村 信弘 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士
		金融市場の計量ファイナンス 演習
専	教授	本多 俊毅 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習
専	准教授	鈴木 健嗣 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		コーポレート・ファイナンスの 実証分析Ⅰ 演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大山 睦 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		イノベーション経済研究 アントレプレナーシップ研究 演習 副演習
専	准教授	中島 賢太郎 ＜平成29年 4 月＞ 経済学博士
		演習 副演習
専	講師	姜 秉祐 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		演習 副演習
兼任	非常勤講師	MALEN JOEL BAKER ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
兼任	非常勤講師	吉岡（小林） 徹 ＜平成30年 4 月＞ 工学博士
専	教授	伊藤 彰敏 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		コーポレート・ファイナンスの 実証分析Ⅱ 演習
専	教授	大橋 和彦 ＜平成29年 4 月＞ 経済学博士
		資産価格理論 演習
専	教授	中川 秀敏 ＜平成29年 4 月＞ 数理科学博士
		演習
専	教授	中村 信弘 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士
		金融市場の計量ファイナンス 演習
専	教授	本多 俊毅 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習
専	准教授	鈴木 健嗣 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		コーポレート・ファイナンスの 実証分析Ⅰ 演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大山 睦 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		ビジネス・エコノミクス特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	中島 賢太郎 ＜平成29年 4 月＞ 経済学博士
		ビジネス・エコノミクス特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	姜 秉祐 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		アントレプレナーシップ特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
兼任	非常勤講師	MALEN JOEL BAKER ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
専	講師	吉岡（小林） 徹 ＜平成30年 4 月＞ 工学博士
		演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	伊藤 彰敏 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		コーポレート・ファイナンスの 実証分析Ⅱ 演習
専	教授	大橋 和彦 ＜平成29年 4 月＞ 経済学博士
		資産価格理論 演習
専	教授	中川 秀敏 ＜平成29年 4 月＞ 数理科学博士
		演習
専	教授	中村 信弘 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士
		金融市場の計量ファイナンス 演習
専	教授	本多 俊毅 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習
専	准教授	鈴木 健嗣 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		コーポレート・ファイナンスの 実証分析Ⅰ 演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大山 睦 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		イノベーション研究方法論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	中島 賢太郎 ＜平成29年 4 月＞ 経済学博士
		イノベーション経済特論 (Ph. D) 先端科学技術とイノベーション (Ph. D) イノベーションと経営・経済・政策 (Ph. D) イノベーション研究方法論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	准教授	姜 秉祐 ＜平成29年 4 月＞ 学術博士
		アントレプレナーシップ特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	講師	吉岡（小林） 徹 ＜平成30年 4 月＞ 工学博士
		技術戦略特論 (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	講師	Padron Hernandez Ivar ＜令和 2 年 4 月＞ 博士
		特別講義（イノベーションの国際比較 B：アジアとイノベーション） (Ph. D) 演習 (Ph. D) 副演習 (Ph. D)
専	教授	伊藤 彰敏 (56) ＜平成29年 4 月＞ 博士
		コーポレート・ファイナンスの 実証分析Ⅱ 演習
専	教授	大橋 和彦 ＜平成29年 4 月＞ 経済学博士
		資産価格理論 演習
専	教授	中川 秀敏 ＜平成29年 4 月＞ 数理科学博士
		演習
専	教授	中村 信弘 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士
		金融市場の計量ファイナンス 演習
専	教授	本多 俊毅 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習
専	准教授	鈴木 健嗣 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		コーポレート・ファイナンスの 実証分析Ⅰ 演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	野間 幹晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士	専	准教授	野間 幹晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士	専	教授	野間 幹晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士	専	教授	野間 幹晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		演習			演習			演習			演習
専	准教授	宮川 大介 ＜平成29年 4 月＞ 博士	専	准教授	宮川 大介 ＜平成29年 4 月＞ 博士	専	准教授	宮川 大介 ＜平成29年 4 月＞ 博士	専	准教授	宮川 大介 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		演習			演習			演習			演習
専	准教授	横内 大介 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士	専	准教授	横内 大介 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士	専	准教授	横内 大介 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士	専	准教授	横内 大介 ＜平成29年 4 月＞ 工学博士
		演習			演習			演習			演習
専任	教授（契約職員）	佐山 展生	兼任	客員教授（非常勤講師）	佐山 展生	兼任	客員教授（非常勤講師）	佐山 展生	兼任	客員教授（非常勤講師）	佐山 展生
兼任	特任講師	O'Neill Gavin ＜平成29年 4 月＞	兼任	特任講師	O'Neill Gavin ＜平成29年 4 月＞	兼任	特任講師	O'Neill Gavin ＜平成29年 4 月＞	兼任	講師	O'Neill Gavin ＜平成29年 4 月＞
		アカデミック・ライティング			アカデミック・ライティング研究			アカデミック・ライティング特論 (Ph. D)			アカデミック・ライティング特論 (Ph. D)
兼任	特任講師	麗子 Fischer ＜平成29年4月＞	兼任	特任講師	麗子 Fischer ＜平成29年4月＞	兼任	特任講師	麗子 Fischer ＜平成29年4月＞	兼任	特任講師	麗子 Fischer ＜平成29年4月＞
		アカデミック・プレゼンテーション			アカデミック・プレゼンテーション研究			アカデミック・プレゼンテーション特論 (Ph. D)			アカデミック・プレゼンテーション特論 (Ph. D)
			兼任	客員教授（非常勤講師）	Renee B. Kim ＜平成30年 4 月＞	兼任	客員教授（非常勤講師）	Renee B. Kim ＜平成30年 4 月＞	兼任	客員教授（非常勤講師）	Renee B. Kim ＜平成30年 4 月＞
					特別講義（International Market Research Method）						特別講義（International Market Research Method） (Ph. D)
									兼任	客員教授（非常勤講師）	山田 澄人 ＜令和 2 年 4 月＞

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

平成29年7月和泉章教授を採用。専任教員に追加。
平成30年3月に古川一郎教授退職。他に担当教員がいるため支障はない。
平成30年3月にEDMAN CARL GOERAN JESPER准教授退職。平成30年4月から兼任非常勤講師として科目を担当。
平成30年3月にMALEN JOEL BAKER講師退職。平成30年4月から兼任非常勤講師として科目を担当。
平成30年4月に遠藤貴宏准教授を採用。専任教員に追加。
平成30年9月に熊本方雄教授を採用。専任教員に追加。
平成30年9月に延岡健太郎教授退職。他に担当教員がいるため支障はない。

平成30年4月Renee B. Kim客員教授（非常勤講師）を採用。兼任教員に追加。
平成30年4月高林浩司非常勤講師を採用。兼任教員に追加。

【令和元年度】

平成31年3月に山内弘隆教授定年退職。他に担当教員がいるため支障はない。
平成31年3月に高岡浩一郎教授退職。平成31年4月から兼任非常勤講師として科目を担当。
平成31年3月に高見澤秀幸准教授退職。平成31年4月から兼任非常勤講師として科目を担当。
平成31年3月に河野真太郎准教授退職。他に担当教員がいるため支障はない。
平成31年3月に清水洋教授退職。他に担当教員がいるため支障はない。
平成31年4月に田頭拓己講師を採用。専任教員に追加。
平成31年4月に吉岡（小林）徹講師を採用。専任教員に追加。
令和元年5月に福川恭子教授を採用。専任教員に追加。
平成31年3月Renee B. Kim客員教授（非常勤講師）任期満了退職。

【令和2年度】

令和2年3月に江川雅子教授定年退職。令和2年4月から特任教授として科目を担当。
令和2年3月に花崎正晴教授定年退職。他に担当教員がいるため支障はない。
令和2年3月に小川英治教授退職。他に担当教員がいるため支障はない。
令和2年3月に万代勝信教授退職。他に担当教員がいるため支障はない。
令和2年3月に越智博美教授退職。他に担当教員がいるため支障はない。
令和2年3月に川本玲子准教授一橋大学大学院言語社会研究科へ転任。他に担当教員がいるため支障はない。
令和2年3月に福田玄明准教授を採用。専任教員に追加。
令和2年4月に畑宏明教授を採用。専任教員に追加。
令和2年4月に鈴木雅貴准教授を採用。専任教員に追加。
令和2年4月にPadron Hernandez Ivar講師を採用。専任教員に追加。
令和2年4月に山田澄人客員教授（非常勤講師）を採用。兼任教員に追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等
(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
7	5	2
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
41	29	6	0	76	0	41	23	6	0	70	0
(42)	(27)	(4)	(0)	(73)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
73	3	0				69	1	0			
(71)	(2)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
41	23	6	0	70	0	41	23	6	0	70	0
[]	[△6]	[]	[]	[△6]	[]	[]	[△6]	[]	[]	[△6]	[]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
69	1	0				69	1	0			
[△4]	[△2]	[]				[△4]	[△2]	[]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
63	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{70}{76} = \boxed{92.1} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{70} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	古川 一郎	H30. 3	選択	演習	①	H30. 3. 31付け辞職のため就任辞退（元）						
				選択	副演習	①							
2	准教授	EDMAN CARL GOERAN JESPER	H30. 3	選択	演習	①	H30. 3. 31付け辞職のため就任辞退（元）						
				選択	副演習	①							
3	准教授	MALEN JOEL BAKER	H30. 3	選択	演習	①	H30. 3. 31付け辞職のため就任辞退（元）						
				選択	副演習	①							
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	延岡 健太郎	H30. 9	選択	演習	①	H30. 9. 30付け辞職のため辞任（元）						
				選択	副演習	①							
2	教授	高岡 浩一郎	H31. 3	選択	演習	①	H31. 3. 31付け辞職のため辞任（元）						
				選択	副演習	①							
3	准教授	高見澤 秀幸	H31. 3	選択	データ分析研究	①	H31. 3. 31付け辞職のため辞任（元）						
				選択	演習	①							
				選択	副演習	①							
4	准教授	河野 真太郎	H31. 3	選択	文化分析研究	①	H31. 3. 31付け辞職のため辞任（元）						
				選択	演習	①							
				選択	副演習	①							
5	教授	清水 洋	H31. 3	選択	演習	①	H31. 3. 31付け辞職のため辞任（元）						
				選択	副演習	①							
6	教授	小川 英治	R2. 3	選択	文献精読特論(Ph. D)	①	R2. 3. 31付け辞職のため辞任（２）						
				選択	演習	①							
				選択	副演習	①							
7	教授	万代 勝信	R2. 3	選択	財務会計特論(Ph. D)	①	R2. 3. 31付け辞職のため辞任（２）						
				選択	演習	①							
				選択	副演習	①							
8	教授	越智 博美	R2. 3	選択	商業文化特論(Ph. D)	③	R2. 3. 31付け辞職のため辞任（２）						
				選択	演習	①							
				選択	副演習	①							
9	准教授	川本 玲子	R2. 3	選択	演習	①	R2. 4. 1付け他研究科へ転任（２）						
				選択	副演習	①							
合 計（Ｆ）						後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
9	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	23	科目	選択	22	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	23	科目	計	22	科目	計	0	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
12	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	29 科目	選択	28 科目	選択	0 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	29 科目	計	28 科目	計	0 科目	計	1 科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

12

76

=

15.78

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	山内 弘隆	選択	演習	①	H31.3.31付け63歳で定年退職（元）				
			選択	副演習	①					
2	教授	江川 雅子	選択	演習	①	R2.3.31付け63歳で定年退職（2）				
			選択	副演習	①					
3	教授	花崎 正晴	選択	企業金融特論(Ph.D)	③	R2.3.31付け63歳で定年退職（2）				
			選択	演習	①					
			選択	副演習	①					
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」

・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生への周知については、担当教員からの担当講義での周知、事務室からの案内、シラバス等で周知を行った。 担当科目については、他の教員が担当するか引き続き当該教員が兼任教員として担当し、演習指導についても他の専任教員への変更を行ったため、学生への影響は少ない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等 ※該当なし

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜経営管理研究科 経営管理専攻 博士後期課程＞

(1) 設置計画変更事項等 ※該当なし

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 ・ 委員会の設置は無し ② 実施状況 a 実施内容 （1）FD研修（ゼミナールの運営、教育プログラムでの取組等） （2）障害学生支援に係る研修 b 実施方法 （1）教員による報告及び討議 （2）障害学生支援室教員による講義 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 計3回開催。出張中の者等を除き、（1）（2）については、経営管理研究科経営管理専攻担当全教員が参加。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 研修での講義や、討議内容を踏まえて、各教員が自身の担当科目での工夫、改善に努めている。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・ 金融戦略・経営財務プログラムにおいて、春夏学期の終了時点と秋冬学期の終了時点の年2回、各授業の評価、演習ごとの評価、カリキュラム全体に関する評価について学生にアンケートを実施。 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ アンケート結果については、すべて専任教員の間で共有。授業評価アンケートの内容に関する教員から学生へのフィードバックは、個別に教員が行う。イントラネットにフィードバックを掲載する、次年度シラバスで対応、次年度授業の冒頭で改善点を示すなど。
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 ※ 該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

※ 該当なし

.....

② 自己点検・評価報告書

※ 該当なし

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

・ 評価機関（The Association to Advance Collegiate Schools of Business（AACSB））の評価を
2015年度～2020年度に受審中

・ 令和3年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、検討中

（注） ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [

有

 ・ 無]

《 aで「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・

公表後2～3ヶ月以内

 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [

ウェブサイトへの掲載

 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 一橋大学

(2) 大 学 名
一橋大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒186-8601
東京都国立市中2-1
〒101-8439
東京都千代田区一ツ橋2-1-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(タデヌマ コウイチ) 蓼沼 宏一 (平成26年12月)		
学 部 長	(ハチヤ トヨヒコ) 蜂谷 豊彦 (平成30年4月)	(タナカ カズヒロ) 田中 一弘 (平成31年1月)	前任の研究科長が副学長に就任したことに伴う交代 (平成31年1月1日(元))

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経営管理研究科 国際企業戦略専攻(専門職学位課程) 経営修士(専門職)	経済学関係	2又は1年	58人	— 年次人	116人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 3 0 年度		令和元年度		令和 2 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から報 告年度までの平 均入学定員超過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 人 58 (-) [-]		人 人 58 (-) [-]		人 人 58 (-) [-]		0.96倍	0.93倍	秋季入学試験 のみ実施
志願者数	-	110	-	109	-	未定			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()			
	[-]	[89]	[-]	[74]	[-]	[]			
受験者数	-	110	-	109	-	未定			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()			
	[-]	[89]	[-]	[74]	[-]	[]			
合格者数	-	60	-	63	-	未定			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()			
	[-]	[43]	[-]	[43]	[-]	[]			
B 入学者数	-	53	-	56	-	未定			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()			
	[-]	[37]	[-]	[37]	[-]	[]			
入学定員超過率 B/A	0.91		0.96		未定				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1 年次	— [—] (—)	53 [37] (—)	— [—] (—)	57 [38] (1)	— [—] (—)	56 [37] (—)	秋季入学試験のみ実施	
2 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	16 [15] (—)	— [—] (—)	15 [14] (—)		
計		53 [37] (—)		73 [53] (1)		71 [51] (—)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	53 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	73 人	1 人	平成30年度	1 人	1 人	[学生本人の仕事の都合]
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	71 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	人	人	秋季入学試験のみ実施のため、該当者なし
合 計		1 人		1 人	1 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{53} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{73} = \boxed{1.36} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{71} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営管理研究科 国際企業戦略専攻 専門職学位課程>

(1) -① 授業科目表
【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
コア 科目 (MBA コース)	Strategy	1②		2		1					
	Developing Leaders and Teams I	1①		2			1				1
	Developing Leaders and Teams II	1①		2			2				
	Knowledge Management	1①		2		1					
	Marketing	1①		2			1				
	Corporate Finance I	1①		2		1					
	Corporate Finance II	1②		2		1					
	Quantitative Business Analysis	1①		2			1				
	Accounting I	1①		2			1				
	Operations Management	1①		2		1					1
	Accounting II	1①		2			2				
	Business, Government and International Economy	1②		2							1
	Japanese Business and Economy	1①		2			1				
	Business Ethics	1③		2		1					
	Global Citizenship	1④		2							1
	Global Network Project	1②		2		2	2				
	Digital Disruption	1①		1		2					
	Presentation Skills	1①		1							1
	小計(18科目)	-									
コア 科目 (EMB コース)	Pursuing Differentiation	1①		1		1					
	Realizing Customer Value	1①		1			1				
	Leading Innovation	1①		1		1					1
	Creating Knowledge for the Future	1①		1		1					1
	Getting Things Done	1①		1							1
	Managing Diversity and Culture	1①		1			1				1
	Making Decisions for Shared Value	1①		1							1
	Building Top Management Teams for Financing for Growth and Sustainability	1①		1		1					
	Measuring and Delivering Performances	1①		1		1					
	Leadership Circles	1①		2		1					
	Mastery Immersion I	1②		2		1					
	Mastery Immersion II	1③		2		1					
	Mastery Immersion III	1④		2		1					
	Mastery Forum	1②		4		3	2				
	Mastery Project	1④		4		3	2				
	小計(16科目)	-									
選 択 科 目 (MBA コース)	Marketing Research & Analysis	1④		2			1				
	Corporate Governance	1④		2		1					
	Dynamic Competitive Strategy	1③		2		1					
	Topics in Innovation I	1③		2							1
	Microeconomics for Managers	1④		2							1
	Strategy in Emerging Markets	1④		2		1					
	Customer Behavior	1③		2		1					
	Brand Strategy and Design	1③		2							1
	Topics in Technology I	1③		2							1
	Topics in International Business and Economy I	1③		2							1
	Equity Investments	1④		2							1

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
コア 科目 (MBA コース)	Strategy	1①		2		1					
	Organizational Behavior I	1①~②		2				1			
	Organizational Behavior II	1③		2			1				
	Knowledge Management	1①		2		1					
	Marketing	1②		2			1				
	Corporate Finance I	1①		2		1					
	Corporate Finance II	1②		2							1
	Quantitative Business Analytics	1①		2			1				
	Accounting I	1①		2			1				
	Operations Management	1①		2							1
	Accounting II	1②		2			1				1
	Business, Government and International Economy	1①		2							1
	Japanese Business and Economy	1①		2			1				
	Wise Leadership	1①~④		2			1				3
	Capstone Project	1④		2			1				
	Digital Disruption	1②		2		1					
	Presentation Skills	1①		1			1				1
	Economics for Managers	1①		2		1					
	Design Thinking	1④		2			1				
	小計(19科目)	-									
コア 科目 (EMB コース)	Pursuing Differentiation	1①		1		1					
	Realizing Customer Value	1①		1			1				
	Leading Innovation	1①		1							1
	Creating Knowledge for the Future	1①		1		1					
	Getting Things Done	1①		1							1
	Leading Across Diversity and Culture	1①		1							1
	Making Decisions for Shared Value	1①		1							1
	Inspiring People and Organizations	1①		1		1					
	Financing for Growth and Sustainability	1①		2		1					
	Measuring and Delivering Performances	1①		1			1				
	Leadership Circles(未開講)	1①		1							
	Mastery Immersion I	1②		3							1
	Mastery Immersion II	1③		3		1	1				
	Mastery Immersion III	1④		3		1	1				
	Mastery Forum	1①~④		4		1					
	Mastery Project(未開講)	1④		4							
	Becoming an Effective Leader in a Time of Change	1①		1							1
	小計(17科目)	-									
選 択 科 目 (MBA コース)	Marketing Research & Analytics	1④		2			1				
	Corporate Governance	1④		2							1
	Dynamic Competitive Strategy(未開講)	1③		2							
	Topics in Innovation I(未開講)	1③		2							1
	Strategy in Emerging Markets(未開講)	1④		2							
	Customer Behavior	1③		2		1					
	Brand Strategy and Design(未開講)	1③		2							
	Topics in Technology I(未開講)	1③		2							
	Topics in International Business and Economy I(未開講)	1③		2							
	Equity Investments	1④		2							1

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選 択 科 目 （ M B A コ ー ス ）	Service Management	1②		2			1				
	Competitiveness and Clusters	1②		2		1					
	Topics in Technology II	1④		2							1
	Topics in International Business and Economy II	1④		2							1
	Topics in Operation I	1③		2							1
	Independent Research	1・2③～④		2		9	5				
	Topics in Finance I	1③		2							1
	Topics in Finance II	1④		2							1
	Entrepreneurial Finance	1③		2							1
	Company and Equity Analysis	1③		2							1
	Control	1④		2			1				
	Applied Corporate Finance	1④		2		1					
	Entrepreneurial Management	1②		2		1					
	Topics in Business Ethics I	1③		2							1
	Topics in Business Ethics II	1④		2							1
	Human Resource Management	1③		2		1					
	Topics in Innovation II	1④		2							1
	Topics in Finance III	1④		2							1
	Topics in Marketing I	1③		2							1
	Topics in Marketing II	1④		2							1
	Topics in Organizational Behavior I	1③		2							1
	Topics in Organizational Behavior II	1④		2							1
	Topics in Strategy I	1③		2							1
	Topics in Strategy II	1④		2							1
	Topics in Knowledge Management I	1③		2							1
	Topics in Knowledge Management II	1④		2							1
	International Business	1③		2		1					1
	Capital Markets	1④		2							1
	Management of Energy Business	1③		2							3
	Corporate Entrepreneurship	1③		2		1					1
	Applied Operations Management	1④		2			1				
	Knowledge Generation	1④		2							1
	Negotiation	1③		2			1				
	Topics on Japan I	1①		2							1
	Topics on Japan II	1②		2							1
	Intensive Writing	1①		2							1
	Japanese Language, Basic 1	1①		2							2
	Japanese Language, Basic 2	1①		1							2
	Japanese Language, Basic 3	1①		1							2
	Japanese Language, Basic 4	1①		2							2
	Japanese Language, Intermediate 1	1①		2							2
	Japanese Language, Intermediate 2	1①		1							2
	Japanese Language, Intermediate 3	1①		1							2
	Japanese Language, Intermediate 4	1①		2							2
	Japanese Language, Advanced 1	1②		1							2
	Japanese Language, Advanced 2	1②		1							2
	Japanese Language, Advanced 3	1②		2							2
	Japanese Language, Advanced 4	1②		2							2
	Chinese Language 1	1②		2							1
	Chinese Language 2	1②		2							1
	Korean Language 1	1②		2							1
	Korean Language 2	1②		2							1

【令和２年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選 択 科 目 （ M B A コ ー ス ）	Service Management (未開講)	1②		2							
	Competitiveness and Clusters (未開講)	1③		2							
	Topics in Technology II (未開講)	1④		2							
	Topics in International Business and Economy II (未開講)	1④		2							
	Topics in Operation I (未開講)	1③		2							
	Independent Research	1・2③～④		2		7	6	1			
	Topics in Finance I (未開講)	1③		2							
	Topics in Finance II (未開講)	1④		2							
	Entrepreneurial Finance (未開講)	1③		2							
	Company and Equity Analysis (未開講)	1③		2							
	Control (未開講)	1④		2							
	Applied Corporate Finance	1④		2		1					
	Entrepreneurial Management	1④		2							1
	Topics in Business Ethics I (未開講)	1③		2							
	Topics in Business Ethics II (未開講)	1④		2							
	Human Resource Management (未開講)	1②		2							
	Topics in Innovation II (未開講)	1④		2							
	Topics in Finance III (未開講)	1④		2							
	Topics in Marketing I (未開講)	1③		2							
	Topics in Marketing II (未開講)	1④		2							
	Topics in Organizational Behavior I	1②		2							1
	Topics in Organizational Behavior II (未開講)	1④		2							
	Topics in Strategy I (未開講)	1③		2							
	Topics in Strategy II (未開講)	1④		2							
	Topics in Knowledge Management I (未開講)	1③		2							
	Topics in Knowledge Management II (未開講)	1④		2							
	Global Business	1③		2							1
	Capital Markets	1③		2							2
	Management of Energy Business	1③		2							3
	Corporate Entrepreneurship	1④		2							1
	Applied Operations Management	1③		2							1
	Knowledge Generation	1④		2							1
	Negotiation	1②		2			1				
	Topics on Japan I (未開講)	1①		2							
	Topics on Japan II (未開講)	1②		2							
	Intensive Writing	1①		2							1
	Japanese Language, Basic 1	1①		2							2
	Japanese Language, Basic 2	1②		1							2
	Japanese Language, Basic 3	1②		1							2
	Japanese Language, Basic 4	1④		2							2
	Japanese Language, Intermediate 1	1①		2							2
	Japanese Language, Intermediate 2	1②		1							2
	Japanese Language, Intermediate 3	1②		1							2
	Japanese Language, Intermediate 4	1④		2							2
	Japanese Language, Advanced 1	1②		1							2
	Japanese Language, Advanced 2 (未開講)	1②		1							
	Japanese Language, Advanced 3 (未開講)	1②		2							
	Japanese Language, Advanced 4 (未開講)	1②		2							
	Chinese Language 1 (未開講)	1②		2							
	Chinese Language 2 (未開講)	1②		2							
	Korean Language 1 (未開講)	1②		2							
	Korean Language 2 (未開講)	1②		2							

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
(M B A コ ー ス)											
	小計(63科目)	－									
特 別 科 目 (M B A)	Japanese Culture	1②		2							2
	Strategy Simulation Week	1③		2			1				
	Global Network Week	1・2②		1		1	1				
	Doing Business in Asia	1④		2		1					
	Seminar I	1①		2		7	5				
	Seminar II	2①		2		7	5				
	小計(6科目)	－									
(E 特 別 B 科 A 目)	Foundation Launch Pad	1①		2		1					
	Mastery Launch Pad	1②		2		1					
	小計(2科目)	－									
合計(105科目)		－									
卒業要件及び履修方法											
[MBAコース]2年プログラム 56単位以上 コア科目から18科目34単位、選択科目から8科目16単位以上、特別科目から3科目6単位以上 [EMBAコース] 30単位 コア科目から16科目26単位、特別科目の2科目4単位											

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
(M B A コ ー ス)	Global Network Course I	1①～④		1			1				
	Global Network Course II	1①～④		2			1				
	小計(64科目)	－									
特 別 科 目 (M B A)	Japanese Culture	1①		2							2
	Strategy Simulation Week	1③		2			1				
	Global Network Week(未開講)	1・2②		1		1	1				
	Doing Business in Asia(未開講)	1④		2		1					
	Seminar I	1①～④		2		7	6	1			
	Seminar II	2①～④		2		7	6	1			
	Managing the SDGs - SIGMA Global Active Learning	1①		2							1
	小計(7科目)	－									
(E 特 別 B 科 A 目)	Management Essentials	1①～④		3		1					
	Mastery Launch Pad	1②		2		1					3
	小計(2科目)	－									
合計(109科目)		－									
卒業要件及び履修方法											
[MBAコース]2年プログラム 56単位以上 コア科目から19科目37単位、選択科目から13単位以上、特別科目から6単位以上 [EMBAコース] 30単位 コア科目から15科目25単位、特別科目を2科目5単位											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コア科目（MBAコース）	Strategy	1②		2		1					
	Developing Leaders and Teams I	1①		2			1				1
	Developing Leaders and Teams II	1①		2			2				
	Knowledge Management	1①		2		1					
	Marketing	1①		2			1				
	Corporate Finance I	1①		2		1					
	Corporate Finance II	1②		2		1					
	Quantitative Business Analysis	1①		2			1				
	Accounting I	1①		2			1				
	Operations Management	1①		2		1					1
	Accounting II	1①		2			2				
	Business, Government, and International Japanese Business and Economy	1②		2							1
		1①		2			1				
	Business Ethics	1③		2		1					
	Global Citizenship	1④		2							1
	Global Network Project	1②		2		2	2				
	Digital Disruption	1①		1		2					
	Presentation Skills	1①		1							1
	小計(18科目)	-									
コア科目（EMBAコース）	Pursuing Differentiation	1①		1		1					
	Realizing Customer Value	1①		1			1				
	Leading Innovation	1①		1		1					1
	Creating Knowledge for the Future	1①		1		1					1
	Getting Things Done	1①		1							1
	Managing Diversity and Culture	1①		1			1				1
	Making Decisions for Shared Value	1①		1							1
	Building Top Management Teams for Financing for Growth and Sustainability	1①		1		1					
	Measuring and Delivering Performance	1①		1		1					
	Leadership Circles	1①		2		1					
	Mastery Immersion I	1②		2		1					
	Mastery Immersion II	1③		2		1					
	Mastery Immersion III	1④		2		1					
	Mastery Forum	1②		4		3	2				
	Mastery Project	1④		4		3	2				
	小計(16科目)	-									
選択科目（MBAコース）	Marketing Research & Analysis	1④		2			1				
	Corporate Governance	1④		2		1					
	Dynamic Competitive Strategy	1③		2		1					
	Topics in Innovation I	1③		2							1
	Microeconomics for Managers	1④		2							1
	Strategy in Emerging Markets	1④		2		1					
	Customer Behavior	1③		2		1					
	Brand Strategy and Design	1③		2							1
	Topics in Technology I	1③		2							1
	Topics in International Business and Economy I	1③		2							1
	Equity Investments	1④		2							1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コア科目（MBAコース）	Strategy	1①		2		1					
	Organizational Behavior I	1①		2			1				
	Organizational Behavior II	1①~②		2				1			
	Knowledge Management	1①		2		1					
	Marketing	1②		2			1				
	Corporate Finance I	1①		2		1					
	Corporate Finance II	1②		2		1					
	Quantitative Business Analytics	1①		2			1				
	Accounting I	1①		2			1				
	Operations Management	1②		2							1
	Accounting II	1①		2		1	1				
	Business, Government, and International Japanese Business and Economy	1③		2							1
		1①		2			1				
	Business Ethics	1③		2							2
	Wise Leadership Capstone	1①~④		2							3
	Global Network Project	1②		2			2				
	Digital Disruption	1③		2		1					
	Presentation Skills	1①		1							1
	Economics for Managers	1①		2		1					
	小計(19科目)	-									
コア科目（EMBAコース）	Pursuing Differentiation	1①		1		1					
	Realizing Customer Value	1①		1			1				
	Leading Innovation	1①		1							1
	Creating Knowledge for the Future	1①		1		1					
	Getting Things Done	1①		1							1
	Leading Across Diversity and Culture	1①		1			1				
	Making Decisions for Shared Value	1①		1							1
	Inspiring People and Organizations	1①		1		1					
	Financing for Growth and Sustainability	1①		2		1					
	Measuring and Delivering Performances	1①		1			1				
	Leadership Circles	1①		1			1				
	Mastery Immersion I	1②		3							1
	Mastery Immersion II	1③		3			1				
	Mastery Immersion III	1④		3		1	1				
	Mastery Forum	1①~④		3		1					
	Mastery Project（未開講）	1④		4		3	2				
	小計(16科目)	-									
選択科目（MBAコース）	Marketing Research & Analytics	1④		2			1				
	Corporate Governance	1④		2							1
	Dynamic Competitive Strategy(未開講)	1③		2		1					
	Topics in Innovation I(未開講)	1③		2							1
	Strategy in Emerging Markets（未開講）	1④		2		1					
	Customer Behavior	1③		2		1					
	Brand Strategy and Design（未開講）	1③		2							1
	Topics in Technology I（未開講）	1③		2							1
	Topics in International Business and Economy I	1③		2							1
	Equity Investments	1④		2							1

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選 択 科 目 （ M B A コ ー ス ）	Service Management	1②		2			1				
	Competitiveness and Clusters	1②		2		1					
	Topics in Technology II	1④		2							1
	Topics in International Business and Economy II	1④		2							1
	Topics in Operation I	1③		2							1
	Independent Research	1・2③～④		2		9	5				
	Topics in Finance I	1③		2							1
	Topics in Finance II	1④		2							1
	Entrepreneurial Finance	1③		2							1
	Company and Equity Analysis	1③		2							1
	Control	1④		2			1				
	Applied Corporate Finance	1④		2		1					
	Entrepreneurial Management	1②		2		1					
	Topics in Business Ethics I	1③		2							1
	Topics in Business Ethics II	1④		2							1
	Human Resource Management	1③		2		1					
	Topics in Innovation II	1④		2							1
	Topics in Finance III	1④		2							1
	Topics in Marketing I	1③		2							1
	Topics in Marketing II	1④		2							1
	Topics in Organizational Behavior I	1③		2							1
	Topics in Organizational Behavior II	1④		2							1
	Topics in Strategy I	1③		2							1
	Topics in Strategy II	1④		2							1
	Topics in Knowledge Management I	1③		2							1
	Topics in Knowledge Management II	1④		2							1
	International Business	1③		2		1					1
	Capital Markets	1④		2							1
	Management of Energy Business	1③		2							3
	Corporate Entrepreneurship	1③		2		1					1
	Applied Operations Management	1④		2			1				
	Knowledge Generation	1④		2							1
	Negotiation	1③		2			1				
	Topics on Japan I	1①		2							1
	Topics on Japan II	1②		2							1
	Intensive Writing	1①		2							1
	Japanese Language, Basic 1	1①		2							2
	Japanese Language, Basic 2	1①		1							2
	Japanese Language, Basic 3	1①		1							2
	Japanese Language, Basic 4	1①		2							2
	Japanese Language, Intermediate 1	1①		2							2
	Japanese Language, Intermediate 2	1①		1							2
	Japanese Language, Intermediate 3	1①		1							2
	Japanese Language, Intermediate 4	1①		2							2
	Japanese Language, Advanced 1	1②		1							2
	Japanese Language, Advanced 2	1②		1							2
	Japanese Language, Advanced 3	1②		2							2
	Japanese Language, Advanced 4	1②		2							2
	Chinese Language 1	1②		2							1
	Chinese Language 2	1②		2							1
	Korean Language 1	1②		2							1
	Korean Language 2	1②		2							1

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選 択 科 目 （ M B A コ ー ス ）	Service Management (未開講)	1②		2							
	Competitiveness and Clusters	1③		2		1					
	Topics in Technology II (未開講)	1④		2							1
	Topics in International Business and Economy II	1④		2							1
	Topics in Operation I (未開講)	1③		2							1
	Independent Research	1・2③～④		2		7	6	1			
	Topics in Finance I (未開講)	1③		2							1
	Topics in Finance II (未開講)	1④		2							1
	Entrepreneurial Finance (未開講)	1③		2							1
	Company and Equity Analysis (未開講)	1③		2							1
	Control (未開講)	1④		2			1				
	Applied Corporate Finance	1④		2		1					
	Entrepreneurial Management	1④		2							1
	Topics in Business Ethics I (未開講)	1③		2							1
	Topics in Business Ethics II (未開講)	1④		2							1
	Human Resource Management	1②		2		1					
	Topics in Innovation II (未開講)	1④		2							1
	Topics in Finance III (未開講)	1④		2							1
	Topics in Marketing I (未開講)	1③		2							1
	Topics in Marketing II (未開講)	1④		2							1
	Topics in Organizational Behavior I (未開講)	1③		2							1
	Topics in Organizational Behavior II (未開講)	1④		2							1
	Topics in Strategy I (未開講)	1③		2							1
	Topics in Strategy II (未開講)	1④		2							1
	Topics in Knowledge Management I (未開講)	1③		2							1
	Topics in Knowledge Management II (未開講)	1④		2							1
	Global Business	1③		2							1
	Capital Markets	1③		2							1
	Management of Energy Business	1③		2							3
	Corporate Entrepreneurship	1④		2							1
	Applied Operations Management	1③		2							1
	Knowledge Generation	1④		2							1
	Negotiation	1②		2			1				
	Topics on Japan I (未開講)	1①		2							1
	Topics on Japan II (未開講)	1②		2							1
	Intensive Writing	1①		2							1
	Japanese Language, Basic 1	1①～②		2							2
	Japanese Language, Basic 2	1②		1							2
	Japanese Language, Basic 3	1②		1							2
	Japanese Language, Basic 4	1④		2							2
	Japanese Language, Intermediate 1	1①		2							2
	Japanese Language, Intermediate 2	1②		1							2
	Japanese Language, Intermediate 3	1②		1							2
	Japanese Language, Intermediate 4	1④		2							2
	Japanese Language, Advanced 1	1②		1							2
	Japanese Language, Advanced 2 (未開講)	1②		1							2
	Japanese Language, Advanced 3 (未開講)	1②		2							2
	Japanese Language, Advanced 4 (未開講)	1②		2							2
	Chinese Language 1 (未開講)	1②		2							1
	Chinese Language 2 (未開講)	1②		2							1
	Korean Language 1 (未開講)	1②		2							1
	Korean Language 2 (未開講)	1②		2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(MBAコース)											
	小計(63科目)	-									
特別科目 (MBA)	Japanese Culture	1②		2							2
	Strategy Simulation Week	1③		2			1				
	Global Network Week	1・2②		1		1	1				
	Doing Business in Asia	1④		2		1					
	Seminar I	1①		2		7	5				
	Seminar II	2①		2		7	5				
	小計(6科目)	-									
(EMBA)	Foundation Launch Pad	1①		2		1					
	Mastery Launch Pad	1②		2		1					
	小計(2科目)	-									
合計(105科目)		-									
卒業要件及び履修方法											
[MBAコース]2年プログラム 56単位以上 コア科目から18科目34単位、選択科目から8科目16単位以上、特別科目から3科目6単位以上 [EMBAコース] 30単位 コア科目から16科目26単位、特別科目の2科目4単位											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(MBAコース)	Global Network Course I	1①~④		1			1				
	Global Network Course II	1①~④		2			1				
	小計(64科目)	-									
特別科目 (MBA)	Japanese Culture	1①		2							2
	Strategy Simulation Week	1③		2			1				
	Global Network Week	1・2②		1		1	1				
	Doing Business in Asia	1④		2		1					
	Seminar I	1①~④		2		7	6	1			
	Seminar II	2①		2		5	6	1			1
	小計(6科目)	-									
(EMBA)	Management Essentials 1	1①		2		1					
	Management Essentials 2	1①~④		2		2					
	Mastery Launch Pad	1②		2		1					
小計(3科目)		-									
合計(108科目)		-									
卒業要件及び履修方法											
[MBAコース]2年プログラム 56単位以上 コア科目から19科目37単位、選択科目を27科目から13単位以上、特別科目を6科目から6単位以上 [EMBAコース] 30単位 コア科目から15科目24単位、特別科目を3科目6単位											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ①②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

特になし。

【令和元年度】

○教育内容に鑑み、次の授業科目の名称をより適切な名称に変更する。

- ・「International Business」を「Global Business」に変更。
- ・「Developing Leaders and Teams I」を「Organizational Behavior I」に変更。
- ・「Developing Leaders and Teams II」を「Organizational Behavior II」に変更。
- ・「Global Citizenship」を「Wise Leadership Capstone」に変更。
- ・「Quantitative Business Analysis」を「Quantitative Business Analytics」に変更。
- ・「Marketing Research & Analysis」を「Marketing Research & Analytics」に変更。
- ・「Building Top Management Teams for Growth」を「Inspiring People and Organizations」に変更。
- ・「Managing Diversity and Culture」を「Leading Across Diversity and Culture」に変更。
- ・「Foundation Launch Pad」を「Management Essentials 1」に変更。

○教育内容の充実を図るため、次の科目を追加で開講する。

- ・Global Network Course I
- ・Global Network Course II
- ・Management Essentials 2

○教育内容に鑑み、次の科目について適切な開講時期へ調整する。

- ・「Strategy」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・「Marketing」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・「Business, Government, and International Economy」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・「Wise Leadership Capstone」の配当年次を「1④」から「1①～④」に変更。
- ・「Digital Disruption」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・「Mastery Forum」の配当年次を「1②」から「1①～④」に変更。
- ・「Operations Management」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・「Economics for Managers」の配当年次を「1④」から「1①」に変更。
- ・「Competitiveness and Clusters」の配当年次を「1②」から「1③」へ変更。
- ・「Independent Research」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」へ変更。
- ・「Entrepreneurial Management」の配当年次を「1②」から「1④」へ変更。
- ・「Human Resource Management」の配当年次を「1③」から「1②」へ変更。
- ・「Capital Markets」の配当年次を「1④」から「1③」へ変更。
- ・「Corporate Entrepreneurship」の配当年次を「1③」から「1④」へ変更。
- ・「Applied Operations Management」の配当年次を「1④」から「1③」へ変更。
- ・「Negotiation」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
- ・「Japanese Language, Basic 1」の配当年次を「1①」から「1①～②」に変更。
- ・「Japanese Language, Basic 2」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・「Japanese Language, Basic 3」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・「Japanese Language, Basic 4」の配当年次を「1①」から「1④」に変更。
- ・「Japanese Language, Intermediate 2」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・「Japanese Language, Intermediate 3」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・「Japanese Language, Intermediate 4」の配当年次を「1①」から「1④」に変更。
- ・「Japanese Culture」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・「Seminar I」の配当年次を「1①」から「1①～④」に変更。
- ・「Organizational Behavior II」の配当年次を「1①」から「1①～②」に変更。

○担当教員見直しのため、次の科目の教員配置を変更する。

- ・「Organizational Behavior I」の教員配置を「准教授1・兼任兼担1」から「教授1」に変更。
- ・「Organizational Behavior II」の教員配置を「准教授2」から「講師1」に変更。
- ・「Accounting II」の教員配置を「准教授2」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・「Business Ethics」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・「Wise Leadership Capstone」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・「Global Network Project」の教員配置を「教授2・准教授2」から「准教授2」に変更。
- ・「Digital Disruption」の教員配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・「Creating Knowledge for the Future」の教員配置を「教授1・兼任兼担1」から「教授1」に変更。
- ・「Financing for Growth and Sustainability」の教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「Measuring and Delivering Performance」の教員配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「Leadership Circles」の教員配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「Mastery Immersion I」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「Mastery Immersion II」の教員配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「Mastery Immersion III」の教員配置を「教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・「Mastery Forum」の教員配置を「教授3・准教授2」から「教授1」に変更。
- ・「Corporate Governance」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「Economics for Managers」の教員配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
- ・「Independent Research」の教員配置を「教授9・准教授5」から「教授7・准教授6・講師1」に変更。
- ・「Entrepreneurial Management」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「Applied Operations Management」の教員配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「Global Business」の教員配置を「教授1・兼任兼担1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「Seminar I」の教員配置を「教授7・准教授5」から「教授7・准教授6・講師1」に変更。
- ・「Seminar II」の教員配置を「教授7・准教授5」から「教授5・准教授6・講師1・兼任・兼担1」に変更。
- ・「Leading Innovation」の教員配置を「教授1・兼任兼担1」から「兼任・兼担1」に変更。

○教育内容の見直しの結果、「Microeconomics for Managers」を「Economics for Managers」へ名称変更し、選択科目から必修科目へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Digital Disruption」単位数を1単位から2単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Financing for Growth and Sustainability」単位数を1単位から2単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Leadership Circles」の単位数を2単位から1単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Mastery Immersion I」の単位数を2単位から3単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Mastery Immersion II」の単位数を2単位から3単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Mastery Immersion III」の単位数を2単位から3単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Mastery Forum」の単位数を4単位から3単位へ変更。

【令和２年度】

○教育内容に鑑み、次の授業科目の名称をより適切な名称に変更する。

- ・「International Business」を「Global Business」に変更。
- ・「Developing Leaders and Teams I」を「Organizational Behavior I」に変更。
- ・「Developing Leaders and Teams II」を「Organizational Behavior II」に変更。
- ・「Global Citizenship」を「Wise Leadership」に変更。
- ・「Global Network Project」を「Capstone Project」に変更。
- ・「Quantitative Business Analysis」を「Quantitative Business Analytics」に変更。
- ・「Marketing Research & Analysis」を「Marketing Research & Analytics」に変更。
- ・「Building Top Management Teams for Growth」を「Inspiring People and Organizations」に変更。
- ・「Managing Diversity and Culture」を「Leading Across Diversity and Culture」に変更。
- ・「Foundation Launch Pad」を「Management Essentials」に変更。

○教育内容の充実を図るため、次の科目を追加で開講する。

- ・Design Thinking
- ・Becoming an Effective Leader in a Time of Change
- ・Global Network Course I
- ・Global Network Course II
- ・Managing the SDGs – SIGMA Global Active Learning

○教育内容に鑑み、次の科目について適切な開講時期へ調整する。

- ・「Strategy」の配当年次を「１②」から「１①」に変更。
- ・「Organizational Behavior I」の配当年次を「１①」から「１①～②」に変更。
- ・「Organizational Behavior II」の配当年次を「１①」から「１③」に変更。
- ・「Marketing」の配当年次を「１①」から「１②」に変更。
- ・「Accounting II」の配当年次を「１①」から「１②」に変更。
- ・「Business, Government and International Economy」の配当年次を「１②」から「１①」に変更。
- ・「Wise Leadership」の配当年次を「１④」から「１①～④」に変更。
- ・「Capstone Project」の配当年次を「１②」から「１④」に変更。
- ・「Digital Disruption」の配当年次を「１①」から「１②」に変更。
- ・「Mastery Forum」の配当年次を「１②」から「１①～④」に変更。
- ・「Competitiveness and Clusters」の配当年次を「１②」から「１③」へ変更。
- ・「Independent Research」の配当年次を「１・２③～④」から「１・２②～④」へ変更。
- ・「Entrepreneurial Management」の配当年次を「１②」から「１④」へ変更。
- ・「Human Resource Management」の配当年次を「１③」から「１②」へ変更。
- ・「Topics in Organizational Behavior I」の配当年次を「１③」から「１②」へ変更。
- ・「Capital Markets」の配当年次を「１④」から「１③」へ変更。
- ・「Corporate Entrepreneurship」の配当年次を「１③」から「１④」へ変更。
- ・「Applied Operations Management」の配当年次を「１④」から「１③」へ変更。
- ・「Negotiation」の配当年次を「１③」から「１②」に変更。
- ・「Japanese Language, Basic 2」の配当年次を「１①」から「１②」に変更。
- ・「Japanese Language, Basic 3」の配当年次を「１①」から「１②」に変更。
- ・「Japanese Language, Basic 4」の配当年次を「１①」から「１④」に変更。
- ・「Japanese Language, Intermediate 2」の配当年次を「１①」から「１②」に変更。
- ・「Japanese Language, Intermediate 3」の配当年次を「１①」から「１②」に変更。
- ・「Japanese Language, Intermediate 4」の配当年次を「１①」から「１④」に変更。
- ・「Japanese Culture」の配当年次を「１②」から「１①」に変更。
- ・「Seminar I」の配当年次を「１①」から「１①～④」に変更。
- ・「Seminar II」の配当年次を「２①」から「２①～④」に変更。
- ・「Management Essentials」の配当年次を「１①」から「１①～④」に変更。

○担当教員見直しのため、次の科目の教員配置を変更する。

- ・「Organizational Behavior I」の教員配置を「准教授１・兼任兼担１」から「講師１」に変更。
- ・「Organizational Behavior II」の教員配置を「准教授２」から「准教授１」に変更。
- ・「Corporate Finance II」の教員配置を「教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
- ・「Operations Management」の教員配置を「教授１・兼任兼担１」から「兼任・兼担１」に変更。
- ・「Accounting II」の教員配置を「准教授２」から「准教授１・兼任兼担１」に変更。
- ・「Wise Leadership」の教員配置を「兼任・兼担１」から「准教授１・兼任兼担３」に変更。
- ・「Capstone Project」の教員配置を「教授２・准教授２」から「准教授１」に変更。
- ・「Digital Disruption」の教員配置を「教授２」から「教授１」に変更。
- ・「Leading Innovation」の教員配置を「教授１・兼任兼担１」から「兼任・兼担１」に変更。
- ・「Creating Knowledge for the Future」の教員配置を「教授１・兼任兼担１」から「教授１」に変更。
- ・「Leading Across Diversity and Culture」の教員配置を「准教授１・兼任兼担１」から「兼任・兼担１」に変更。
- ・「Financing for Growth and Sustainability」の教員配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・「Measuring and Delivering Performance」の教員配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
- ・「Mastery Immersion I」の教員配置を「教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
- ・「Mastery Immersion II」の教員配置を「教授１」から「教授１・准教授１」に変更。
- ・「Mastery Immersion III」の教員配置を「教授１」から「教授１・准教授１」に変更。
- ・「Mastery Forum」の教員配置を「教授３・准教授２」から「教授１」に変更。
- ・「Corporate Governance」の教員配置を「教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
- ・「Independent Research」の教員配置を「教授９・准教授５」から「教授７・准教授６・講師１」に変更。
- ・「Entrepreneurial Management」の教員配置を「教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
- ・「Global Business」の教員配置を「教授１・兼任兼担１」から「兼任・兼担１」に変更。
- ・「Capital Markets」の教員配置を「兼任・兼担１」から「兼任・兼担２」に変更。
- ・「Applied Operations Management」の教員配置を「准教授１」から「兼任・兼担１」に変更。
- ・「Seminar I」の教員配置を「教授７・准教授５」から「教授７・准教授６・講師１」に変更。
- ・「Seminar II」の教員配置を「教授７・准教授５」から「教授７・准教授６・講師１」に変更。
- ・「Mastery Launch Pad」の教員配置を「教授１」から「教授１・兼任兼担３」に変更。

○教育内容の見直しの結果、「Microeconomics for Managers」を「Economics for Managers」に名称変更し、選択科目から必修科目に変更、配当年次を「１④」から「１①」に変更、教員配置を「兼任・兼担１」から「教授１」に変更。

○教育内容の見直しの結果、「Digital Disruption」単位数を１単位から２単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Financing for Growth and Sustainability」単位数を１単位から２単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Leadership Circles」の単位数を２単位から１単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Mastery Immersion I」の単位数を２単位から３単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Mastery Immersion II」の単位数を２単位から３単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Mastery Immersion III」の単位数を２単位から３単位へ変更。

○教育内容の見直しの結果、「Management Essentials」の単位数を２単位から３単位へ変更。

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成 3 0 年度開設であれば平成 2 9 年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	105 科目	0 科目	105 科目	0 科目 []	109 科目 [4]	0 科目 []	109 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例： 1 科目減の場合：△ 1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Leadership Circle	1	1①	専門	選択	担当教員がサバティカル取得のため、今年度は開講しない。
2	Mastery Project	4	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
3	Dynamic Competitive Strategy	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
4	Topics in Innovation I	2	1③	専門	選択	講師都合により開講を中止した。
5	Strategy in Emerging Markets	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
6	Brand Strategy and Design	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
7	Topics in Technology I	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
8	Topics in International Business and Economy I	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
9	Service Management	2	1②	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
10	Competitiveness and Clusters	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
11	Topics in Technology II	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
12	Topics in International Business and Economy II	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
13	Topics in Operation I	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
14	Topics in Finance I	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
15	Topics in Finance II	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
16	Entrepreneurial Finance	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
17	Company and Equity Analysis	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
18	Control	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
19	Topics in Business Ethics I	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
20	Topics in Business Ethics II	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
21	Human Resource Management	1②	1②	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
22	Topics in Innovation II	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
23	Topics in Finance III	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
24	Topics in Marketing I	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
25	Topics in Marketing II	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
26	Topics in Organizational Behavior II	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
27	Topics in Strategy I	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
28	Topics in Strategy II	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
29	Topics in Knowledge Management I	2	1③	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
30	Topics in Knowledge Management II	2	1④	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
31	Topics on Japan I	2	1①	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
32	Topics on Japan II	2	1②	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
33	Japanese Language, Advanced 2	1	1②	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
34	Japanese Language, Advanced 3	2	1②	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
35	Japanese Language, Advanced 4	2	1②	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
36	Chinese Language 1	2	1②	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
37	Chinese Language 2	2	1②	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
38	Korean Language 1	2	1②	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
39	Korean Language 2	2	1②	専門	選択	プログラム構成上の都合のため、今年度は開講しない。
40	Global Network Week	1	1・2②	専門	選択	コロナウィルスの影響により開講を中止した。
41	Doing Business in Asia	2	1④	専門	選択	コロナウィルスの影響により開講を中止した。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	Business Ethics	2	1③	専門	選択	Wise Leadershipに統合したため廃止する。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

9月の年度当初の履修に係るオリエンテーションの際に、1年間の開講科目について学生へ周知するとともに、メール及びポータルサイトでも発信している。なお、学生へ周知済みの科目については基本的にすべて開講しているが、MBAプログラムで令和2年度に開講を予定していた「Global Network Week」及び「Doing Business in Asia」については、海外のビジネススクールとの派遣・受入れを伴うため、新型コロナウイルスの影響により開講を中止した。また、同じく令和2年度にMBAプログラムで開講を予定していた「Topics in Innovation I」は、海外からの招聘講師の来日都合がつかなくなったため、開講を中止した。なお、学生にはメールにより周知を行った。
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目（3）と廃止科目（4）の計	=	42	=	40	%
設置時の計画の授業科目数の計（A）		105			

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計	大学全体 小平体育施設 自転車移動30分 校地等整理のため(元)		
	校 舎 敷 地	182,783㎡	㎡	㎡		182,783㎡			
	運動場用地	159,147㎡	㎡	㎡		159,147㎡			
	小 計	341,935㎡	㎡	㎡		341,935㎡			
	そ の 他	86,091㎡ 80,386㎡	㎡	㎡		86,091㎡ 80,386㎡			
	合 計	428,026㎡ 431,321㎡	㎡	㎡		428,026㎡ 431,321㎡			
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計	大学全体		
		167,584㎡	㎡	㎡		167,584㎡			
		167,584㎡	(㎡)	(㎡)		167,584㎡			
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 教室等用途変更・整理のため(2)		
		78室 80室	104室 103室	10室	2室 (補助職員 0人)	5室 4室 (補助職員 1人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		平成30年3月31日付で教授(契約)1名、特任教授1名が退職したため(元)		
		経営管理研究科 国際企業戦略専攻(専門職学位課程)			14 16 室				
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 電子ジャーナルは、その時点で利用可能なタイトル数であり、必ずしも永続的に所蔵しているものではない。 購入・廃棄等のため(2)	
		大学全体	2,755,754 [1,290,145] 2,752,148 [1,286,367] (2,755,754 [1,290,145]) (2,733,018 [1,280,571])	24,758 [14,414] 24,771 [14,418] 24,758 [14,414] 24,771 [14,418]	25,165 [25,074] 22,126 [22,034] 25,165 [25,074] 22,126 [22,034]	552 565 (552) (555)	497 498 497 (498)		0
		計	2,755,754 [1,290,145] 2,752,148 [1,286,367] (2,755,754 [1,290,145]) (2,733,018 [1,280,571])	24,758 [14,414] 24,771 [14,418] 24,758 [14,414] 24,771 [14,418]	25,165 [25,074] 22,126 [22,034] 25,165 [25,074] 22,126 [22,034]	552 565 (552) (555)	497 498 497 (498)		0
	(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 故障中の座席修理・書架の増設のため(2)	
21,952㎡		858 853		2,912,111 2,910,833					
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				研究科単位での特定不能なため、大学全体の数		
	5,950㎡		陸上競技場、ラグビー場、野球場、サッカー場、テニスコート、ホッケー場、弓道場、空手道場、武道場 等						
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	一 橋 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
(学部)											
商学部											
経営学科	4	137	—	548	学士 (商学)	1.06	1.05	—	昭和50	東京都国立市中2-1	
商学科	4	138	—	552	学士 (商学)	1.06	1.05	—	昭和50	東京都国立市中2-1	
経済学部											
経済学科	4	275	—	1100	学士 (経済学)	1.04	1.08	—	平成10	東京都国立市中2-1	
法学部											
法律学科	4	170	—	680	学士 (法学)	1.05	1.07	—	平成11	東京都国立市中2-1	
社会学部											
社会学科	4	235	—	940	学士 (社会学)	1.08	1.08	—	平成12	東京都国立市中2-1	
大学全体	—	955	—	3820	—	—	—	—	—	—	
(大学院)											
経営管理研究科											
修士課程											
経営管理専攻	2	159	—	318	修士 (商学) (経営)	1.04	1.06	—	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
専門職学位課程											
国際企業戦略専攻	2又は1	58	—	116	経営修士 (専門職)	0.96	—	—	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	秋入学のみ実施
博士後期課程											
経営管理専攻	3	26	—	78	博士 (商学) (経営)	0.89	0.81	—	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
国際企業戦略専攻	3	4	—	12	博士 (経営)	1.00	—	—	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	秋入学のみ実施
商学研究科											
修士課程											
経営・マーケティング専攻	2	—	—	—	修士 (商学) (経営)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
会計・金融専攻	2	—	—	—	修士 (商学) (経営)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
博士後期課程											
経営・マーケティング専攻	3	—	—	—	博士 (商学)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
会計・金融専攻	3	—	—	—	博士 (商学)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止

経済学研究科											
修士課程											
総合経済学専攻	2	82	—	164	修士 (経済学)	1.08	1.11	—	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
経済理論・経済統計専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
応用経済専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
経済史・地域経済専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成10	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
比較経済・地域開発専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成7	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
博士後期課程											
総合経済学専攻	3	22	二	66	博士 (経済学)	0.48	0.41	二	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
経済理論・経済統計専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
応用経済専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
経済史・地域経済専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成10	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
比較経済・地域開発専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成7	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
法学研究科											
修士課程											
法学・国際関係専攻	2	15	—	30	修士 (法学)	1.47	1.47	—	平成16	東京都国立市中2-1	
ビジネスロー専攻	2	36	—	72	修士 (経営法)	0.80	0.91	—	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
専門職学位課程											
法務専攻	3	85	—	255	法務博士 (専門職)	1.05	1.02	—	平成16	東京都国立市中2-1	
博士後期課程											
法学・国際関係専攻	3	26	—	78	博士 (法学)	0.46	0.73	—	平成16	東京都国立市中2-1	
ビジネスロー専攻	3	12	二	36	博士 (経営法)	0.72	0.50	二	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
社会学研究科											
修士課程											
地球社会研究専攻	2	20	—	40	修士 (社会学)	0.88	0.8	—	平成9	東京都国立市中2-1	
総合社会科学専攻	2	70	—	140	修士 (社会学)	0.87	0.95	—	平成12	東京都国立市中2-1	
博士後期課程											
地球社会研究専攻	3	6	—	18	博士 (社会学)	0.68	0.51	—	平成9	東京都国立市中2-1	
総合社会科学専攻	3	35	—	105	博士 (社会学)	0.94	1	—	平成12	東京都国立市中2-1	
言語社会研究科											
修士課程											
言語社会専攻	2	49	—	98	修士 (学術)	0.81	0.77	—	平成8	東京都国立市中2-1	
博士後期課程											
言語社会専攻	3	21	—	63	博士 (学術)	0.84	0.71	—	平成8	東京都国立市中2-1	
国際企業戦略研究科											
専門職学位課程											
経営・金融専攻	2又は1	—	—	—	経営修士 (専門職)	—	—	—	平成15	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止
修士課程											
経営法務専攻	2	—	—	—	修士 (経営法)	—	—	—	平成17	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止
博士後期課程											
経営・金融専攻	3	—	—	—	博士 (経営)	—	—	—	平成11	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止
経営法務専攻	3	—	—	—	博士 (経営法)	—	—	—	平成17	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止

国際・公共政策教育部 専門職学位課程											
国際・公共政策専攻	2又は1	55	—	110	国際・行政 修士（専門 職） 公共経済修 士（専門	1.16	1.17	—	平成17	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
大学院全体	—	781	—	1799	—	—	—	—	—	—	

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜経営管理研究科 国際企業戦略専攻 専門職学位課程＞

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一條 和生 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Knowledge Management Creating Knowledge for the Future Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	楠木 建 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		Global Network Project Pursuing Differentiation Mastery Forum Independent Research Doing Business in Asia Seminar I Seminar II
専	教授	阿久津 聡 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	大藺 恵美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		Strategy Digital Disruption Competitiveness and Clusters Independent Research Global Network Week Seminar I Seminar II
専	教授	伊藤 友則 ＜平成29年 4 月＞ 経営管理学修士
		Corporate Finance I Financing for Growth and Sustainability Mastery Immersion III Independent Research Applied Corporate Finance Seminar I Seminar II
専	教授	岡田 英理香 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Customer Behavior Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	小野 浩 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Economics for Managers Independent Research Human Resource Management Seminar I Seminar II
専	准教授	大上 慎吾 ＜平成29年 4 月＞ 統計学博士
		Quantitative Business Analysis Marketing Research & Analysis Independent Research Seminar I Seminar II

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一條 和生 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Knowledge Management Creating Knowledge for the Future Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	楠木 建 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		Global Network Project Pursuing Differentiation Mastery Forum Independent Research Doing Business in Asia Seminar I Seminar II
専	教授	阿久津 聡 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	大藺 恵美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		Strategy Digital Disruption Competitiveness and Clusters Independent Research Global Network Week Seminar I Seminar II
専	教授	伊藤 友則 ＜平成29年 4 月＞ 経営管理学修士
		Corporate Finance I Financing for Growth and Sustainability Mastery Immersion III Independent Research Applied Corporate Finance Seminar I Seminar II
専	教授	岡田 英理香 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Customer Behavior Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	小野 浩 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Economics for Managers Independent Research Human Resource Management Seminar I Seminar II
専	准教授	大上 慎吾 ＜平成29年 4 月＞ 統計学博士
		Quantitative Business Analysis Marketing Research & Analysis Independent Research Seminar I Seminar II

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一條 和生 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Knowledge Management Creating Knowledge for the Future Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	楠木 建 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		Pursuing Differentiation Mastery Forum Independent Research Doing Business in Asia Seminar I Seminar II Management Essentials 2
専	教授	阿久津 聡 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	大藺 恵美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		Strategy Digital Disruption Competitiveness and Clusters Independent Research Global Network Week Seminar I Seminar II
専	教授	伊藤 友則 ＜平成29年 4 月＞ 経営管理学修士
		Corporate Finance I Financing for Growth and Sustainability Mastery Immersion III Independent Research Applied Corporate Finance Seminar I Seminar II Management Essentials 1 Management Essentials 2 Mastery Launch Pad
専	教授	岡田 英理香 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Customer Behavior Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	小野 浩 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Economics for Managers Inspiring People and Organizations Independent Research Human Resource Management Seminar I Seminar II
専	准教授	大上 慎吾 ＜平成29年 4 月＞ 統計学博士
		Quantitative Business Analytics Marketing Research & Analytics Independent Research Seminar I Seminar II

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一條 和生 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Knowledge Management Creating Knowledge for the Future Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	楠木 建 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
		Pursuing Differentiation Mastery Forum Independent Research Doing Business in Asia Seminar I Seminar II
専	教授	阿久津 聡 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	大藺 恵美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		Strategy Digital Disruption Independent Research Global Network Week Seminar I Seminar II
専	特任教授	伊藤 友則 ＜平成29年 4 月＞ 経営管理学修士
		Corporate Finance I Financing for Growth and Sustainability Mastery Immersion III Independent Research Applied Corporate Finance Seminar I Seminar II Management Essentials Mastery Launch Pad
専	教授	岡田 英理香 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Customer Behavior Independent Research Seminar I Seminar II
専	教授	小野 浩 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Economics for Managers Inspiring People and Organizations Mastery Immersion II Independent Research Seminar I Seminar II
専	准教授	大上 慎吾 ＜平成29年 4 月＞ 統計学博士
		Quantitative Business Analytics Marketing Research & Analytics Independent Research Seminar I Seminar II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	Patricia Robinson ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Global Network Project Managing Diversity and Culture Leadership Circles Independent Research Seminar I Seminar II Mastery Launch Pad
専	准教授	藤川 佳則 ＜平成29年4月＞ 商学修士
		Japanese Business and Economy Global Network Project Realizing Customer Value Service Management Independent Research Seminar I Seminar II
専	准教授	古賀 健太郎 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Accounting I Accounting II Measuring and Delivering Performances Independent Research Control Seminar I Seminar II
専	准教授	孫 康勇 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Independent Research Negotiation Strategy Simulation Week Seminar I Seminar II
専	准教授	鈴木 智子 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Marketing Global Network Week
専	講師	PARK JIN SUK ＜平成29年4月＞ 国際経営学博士
		Global Network Project
専	教授 (契約職員)	Michael John Korver ＜平成29年4月＞
		Business Ethics Global Network Project Making Decisions for Shared Value Mastery Immersion II Independent Research
専	特任教授	名和 高司 ＜平成29年4月＞
		Corporate Governance Mastery Immersion I Independent Research Corporate Entrepreneurship
兼任	特任教授	松永 和夫 ＜平成29年4月＞
		Management of Energy Business

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	Patricia Robinson ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Global Network Project Managing Diversity and Culture Leadership Circles Independent Research Seminar I Seminar II Mastery Launch Pad
専	准教授	藤川 佳則 ＜平成29年4月＞ 商学修士
		Japanese Business and Economy Global Network Project Realizing Customer Value Independent Research Seminar I Seminar II
専	准教授	古賀 健太郎 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Accounting I Accounting II Measuring and Delivering Performances Independent Research Control Seminar I Seminar II
専	准教授	孫 康勇 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Independent Research Negotiation Strategy Simulation Week Seminar I Seminar II
専	准教授	鈴木 智子 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Marketing Global Network Week
専	講師	PARK JIN SUK ＜平成29年4月＞ 国際経営学博士
		Global Network Project
兼任	非常勤講師	Michael John Korver ＜平成29年4月＞
		Business Ethics Global Network Project Making Decisions for Shared Value Mastery Immersion II Independent Research
兼任	客員教授 (非常勤講師)	名和 高司 ＜平成29年4月＞
		Corporate Governance Mastery Immersion I Independent Research Corporate Entrepreneurship
兼任	特任教授	松永 和夫 ＜平成29年4月＞
		Management of Energy Business

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	Patricia Robinson ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Organizational Behavior I Leading Across Diversity and Culture Leadership Circles Independent Research Seminar I Seminar II
専	准教授	藤川 佳則 ＜平成29年4月＞ 商学修士
		Japanese Business and Economy Global Network Project Realizing Customer Value Mastery Immersion II Independent Research Global Network Course I Global Network Course II Seminar I Seminar II
専	准教授	古賀 健太郎 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Accounting I Accounting II Measuring and Delivering Performances Mastery Immersion III Independent Research Seminar I Seminar II
専	准教授	孫 康勇 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Independent Research Negotiation Strategy Simulation Week Seminar I Seminar II
専	准教授	鈴木 智子 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Global Network Project Marketing Independent Research Global Network Week Seminar I Seminar II
専	講師	PARK JIN SUK ＜平成29年4月＞ 国際経営学博士
		Organizational Behavior II Independent Research Seminar I Seminar II
兼任	客員教授 (非常勤講師)	名和 高司 ＜平成29年4月＞
		Making Decisions for Shared Value Mastery Immersion I Corporate Governance Independent Research Corporate Entrepreneurship Seminar II
兼任	特任教授	松永 和夫 ＜平成29年4月＞
		Management of Energy Business

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	Patricia Robinson ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Organizational Behavior II Independent Research Seminar I Seminar II
専	准教授	藤川 佳則 ＜平成29年4月＞ 商学修士
		Japanese Business and Economy Capstone Project Wise Leadership Realizing Customer Value Mastery Immersion II Independent Research Global Network Course I Global Network Course II Seminar I Seminar II
専	准教授	古賀 健太郎 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Accounting I Accounting II Measuring and Delivering Performances Mastery Immersion III Independent Research Seminar I Seminar II
専	准教授	孫 康勇 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Independent Research Negotiation Strategy Simulation Week Seminar I Seminar II
専	准教授	鈴木 智子 ＜平成29年4月＞ 経営学博士
		Marketing Global Network Week Independent Research Design Thinking Seminar I Seminar II
専	講師	PARK JIN SUK ＜平成29年4月＞ 国際経営学博士
		Organizational Behavior I Independent Research Seminar I Seminar II
兼任	客員教授 (非常勤講師)	名和 高司 ＜平成29年4月＞
		Making Decisions for Shared Value Mastery Immersion I Corporate Governance Corporate Entrepreneurship
兼任	特任教授	松永 和夫 ＜平成29年4月＞
		Management of Energy Business

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准教授	WALLACE CATHERINE ELIZABETH ＜平成29年4月＞
		Intensive Writing
兼任	特任准教授	ONO JODY LYNNE LANFREY ＜平成29年4月＞
兼任	特任講師	志賀 玲子 ＜平成29年4月＞
		Japanese Language, Basic 1 Japanese Language, Basic 2 Japanese Language, Basic 3 Japanese Language, Basic 4 Japanese Language, Intermediate 1 Japanese Language, Intermediate 2 Japanese Language, Intermediate 3 Japanese Language, Intermediate 4 Japanese Language, Advanced 1
兼任	特任講師	渋谷 実希 ＜平成29年4月＞
		Japanese Language, Basic 1 Japanese Language, Basic 2 Japanese Language, Basic 3 Japanese Language, Basic 4 Japanese Language, Intermediate 1 Japanese Language, Intermediate 2 Japanese Language, Intermediate 3 Japanese Language, Intermediate 4 Japanese Language, Advanced 1
兼任	特任教授	安田 隆二 ＜平成29年4月＞
		Building Top Management Teams for Growth Management of Energy Business
兼任	非常勤講師	川田 英樹 ＜平成29年4月＞
		Global Citizenship
兼任	非常勤講師	小林 三郎 ＜平成29年4月＞

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准教授	WALLACE CATHERINE ELIZABETH ＜平成29年4月＞
		Intensive Writing
兼任	特任准教授	ONO JODY LYNNE LANFREY ＜平成29年4月＞
兼任	非常勤講師	志賀 玲子 ＜平成29年4月＞
		Japanese Language, Basic 3 Japanese Language, Basic 4 Japanese Language, Intermediate 3 Japanese Language, Intermediate 4
兼任	非常勤講師	渋谷 実希 ＜平成29年4月＞
		Japanese Language, Basic 1 Japanese Language, Basic 2 Japanese Language, Basic 3 Japanese Language, Basic 4 Japanese Language, Intermediate 1 Japanese Language, Intermediate 2 Japanese Language, Intermediate 3 Japanese Language, Intermediate 4 Japanese Language, Advanced 1
兼任	特任教授	安田 隆二 ＜平成29年4月＞
		Building Top Management Teams for Growth Management of Energy Business
兼任	特任教授	板野 和彦 ＜平成30年4月＞
		Management of Energy Business
兼任	特任講師	LEE JIN JU ＜平成30年4月＞
兼任	特任講師	西坂 美奈 ＜平成30年4月＞
		Japanese Culture
兼任	非常勤講師	川田 英樹 ＜平成29年4月＞
		Global Citizenship
兼任	非常勤講師	小林 三郎 ＜平成29年4月＞
		Knowledge Generation

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准教授	WALLACE CATHERINE ELIZABETH ＜平成29年4月＞
		Business Ethics Wise Leadership Capstone Intensive Writing
兼任	特任准教授	ONO JODY LYNNE LANFREY ＜平成29年4月＞
		Business Ethics Wise Leadership Capstone
兼任	非常勤講師	渋谷 実希 ＜平成29年4月＞
兼任	特任教授	安田 隆二 ＜平成29年4月＞
		Management of Energy Business
兼任	特任教授	板野 和彦 ＜平成30年4月＞
		Management of Energy Business
兼任	特任講師	LEE JIN JU ＜平成30年4月＞
兼任	特任講師	西坂 美奈 ＜平成30年4月＞
		Japanese Culture
兼任	非常勤講師	川田 英樹 ＜平成29年4月＞
		Wise Leadership Capstone
兼任	非常勤講師	小林 三郎 ＜平成29年4月＞
		Knowledge Generation

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准教授	WALLACE CATHERINE ELIZABETH ＜平成29年4月＞
		Wise Leadership Intensive Writing
兼任	特任准教授	ONO JODY LYNNE LANFREY ＜平成29年4月＞
		Wise Leadership Topics in Organizational Behavior 1
兼任	非常勤講師	渋谷 実希 ＜平成29年4月＞
		Japanese Language, Basic 1 Japanese Language, Basic 2 Japanese Language, Basic 3 Japanese Language, Basic 4 Japanese Language, Intermediate 1 Japanese Language, Intermediate 2 Japanese Language, Intermediate 3 Japanese Language, Intermediate 4 Japanese Language, Advanced 1
兼任	特任教授	安田 隆二 ＜平成29年4月＞
		Management of Energy Business
兼任	特任教授	板野 和彦 ＜平成30年4月＞
		Management of Energy Business
兼任	特任講師	LEE JIN JU ＜平成30年4月＞
兼任	特任講師	西坂 美奈 ＜平成30年4月＞
		Japanese Culture
兼任	非常勤講師	川田 英樹 ＜平成29年4月＞
		Wise Leadership
兼任	非常勤講師	小林 三郎 ＜平成29年4月＞
		Knowledge Generation

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准教授	Moustafellos James ＜平成29年4月＞
		Leading Innovation
兼任	非常勤講師	山岡 三四郎 ＜平成29年4月＞
		Equity Investments
兼任	非常勤講師	菅野 寛 ＜平成29年4月＞
		Operations Management Getting Things Done
兼任	非常勤講師	NEVIN DAVID ROSS ＜平成29年4月＞
		Presentation Skills
兼任	客員教授（非常勤講師）	近藤 正晃 ジェームス ＜平成29年4月＞
		Business, Government, and International Economy

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准教授	Moustafellos James ＜平成29年4月＞
		Leading Innovation
兼任	非常勤講師	山岡 三四郎 ＜平成29年4月＞
		Equity Investments
兼任	教授	伊藤 彰敏 ＜平成30年 4 月＞ 博士
		Corporate Finance II
兼任	非常勤講師	菅野 寛 ＜平成29年4月＞
		Operations Management Getting Things Done
兼任	非常勤講師	NEVIN DAVID ROSS ＜平成29年4月＞
		Presentation Skills
兼任	客員教授（非常勤講師）	近藤 正晃 ジェームス ＜平成30年4月＞
		Business, Government, and International Economy
兼任	客員教授（非常勤講師）	RAUL FRANCISCO MONTALVO CORZO ＜平成30年4月＞
兼任	非常勤講師	木村 素子
		Japanese Culture

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准教授	Moustafellos James ＜平成29年4月＞
		Leading Innovation
兼任	非常勤講師	山岡 三四郎 ＜平成29年4月＞
		Equity Investments
兼任	教授	伊藤 彰敏 ＜平成30年 4 月＞ 博士
		Corporate Finance II
兼任	非常勤講師	菅野 寛 ＜平成29年4月＞
		Getting Things Done
兼任	客員教授（非常勤講師）	近藤 正晃 ジェームス ＜平成30年4月＞
		Business, Government, and International Economy
兼任	特任教授	Ignacio de la Vega Garcia ＜平成31年4月＞
		Entrepreneurial Management
兼任	特任教授	RAUL FRANCISCO MONTALVO CORZO ＜平成30年4月＞
		Global Business
兼任	特任教授	Bossard Olivier ＜平成31年4月＞
		Capital Markets
兼任	特任教授	Yang Hongsuk ＜平成31年4月＞
		Applied Operations Management
兼任	非常勤講師	木村 素子
		Japanese Culture

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准教授	Moustafellos James ＜平成29年4月＞
		Leading Innovation Mastery Launch Pad
兼任	非常勤講師	山岡 三四郎 ＜平成29年4月＞
		Equity Investments
兼任	教授	伊藤 彰敏 ＜平成30年 4 月＞ 博士
		Corporate Finance II
兼任	非常勤講師	菅野 寛 ＜平成29年4月＞
		Getting Things Done
兼任	客員教授（非常勤講師）	近藤 正晃 ジェームス ＜平成30年4月＞
		Business, Government and International Economy Mastery Launch Pad
兼任	特任教授	Ignacio de la Vega Garcia ＜平成31年4月＞
		Topics in Innovation I
兼任	特任教授	RAUL FRANCISCO MONTALVO CORZO ＜平成30年4月＞
		Global Business
兼任	特任教授	Bossard Olivier ＜平成31年4月＞
		Capital Markets
兼任	特任教授	Yang Hongsuk ＜平成31年4月＞
		Applied Operations Management
兼任	非常勤講師	木村 素子
		Japanese Culture

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					福岡 理恵子 ＜平成30年4月＞			福岡 理恵子 ＜平成30年4月＞			福岡 理恵子 ＜平成30年4月＞
			兼任	非常勤講師	Japanese Language, Basic 1 Japanese Language, Basic 2 Japanese Language, Intermediate 1 Japanese Language, Intermediate 2 Japanese Language, Advanced 1	兼任	非常勤講師	Japanese Language, Basic 1 Japanese Language, Basic 2 Japanese Language, Basic 3 Japanese Language, Basic 4 Japanese Language, Intermediate 1 Japanese Language, Intermediate 2 Japanese Language, Intermediate 3 Japanese Language, Intermediate 4 Japanese Language, Advanced 1	兼任	非常勤講師	Japanese Language, Basic 1 Japanese Language, Basic 2 Japanese Language, Basic 3 Japanese Language, Basic 4 Japanese Language, Intermediate 1 Japanese Language, Intermediate 2 Japanese Language, Intermediate 3 Japanese Language, Intermediate 4 Japanese Language, Advanced 1
								Sumiyama Allan ＜平成31年4月＞	兼任	非常勤講師	Sumiyama Allan ＜平成31年4月＞
								Operations Management			Operations Management
兼任	准教授	野間 幹晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士	兼任	准教授	野間 幹晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士	兼任	教授	野間 幹晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士	兼任	教授	野間 幹晴 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
		Accounting II			Accounting II			Accounting II			Accounting II
								藤本 隆宏 ＜平成30年 9 月＞	兼任	非常勤講師	藤本 隆宏 ＜平成30年 9 月＞
								Management Essentials 1 Mastery Launch Pad			Mastery Launch Pad
											梅澤 高明 ＜令和元年 9 月＞
									兼任	特任教授	Becoming an Effective Leader in a Time of Change
											Royanne Doi ＜令和元年11月＞
									兼任	非常勤講師	Leading Across Diversity and Culture
											Andrew W. Silberman ＜令和元年11月＞
									兼任	特任教授	Presentation Skills
											Christina L. Ahmadjian ＜令和元年 9 月＞
									兼任	教授	Managing the SDGs - SIGMA Global Active Learning
											生野 由紀 ＜令和 2 年 5 月＞
									兼任	非常勤講師	Capital Markets
											山川 恭弘 ＜令和 2 年 6 月予定＞
									兼任	特任教授	Entrepreneurial Management

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第 3 号（その 2 の 1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の 5 月 1 日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成 3 0 年度開設であれば平成 2 9 年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ー②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年3月にMichael John Korver教授（契約職員）辞職。平成30年4月から兼任非常勤講師として科目を担当。
- ・平成30年3月に名和高司特任教授辞職。平成30年4月から兼任非常勤講師として科目を担当。

- ・板野和彦特任教授就任。兼任教員に追加。
- ・小林三郎非常勤講師就任。兼任教員に追加。
- ・伊藤彰敏教授就任。兼担教員に追加。
- ・福岡理恵子非常勤講師採用。兼任教員に追加。

【令和元年度】

- ・志賀玲子非常勤講師任期満了。
- ・NEVIN DAVID ROSS非常勤講師任期満了。
- ・ONO JODY LYNNE LANFREY特任准教授採用。兼任教員に追加。
- ・Ignacio de la Vega Garcia特任教授採用。兼任教員に追加。
- ・RAUL FRANCISCO MONTALVO CORZO特任教授採用。兼任教員に追加。
- ・Bossard Olivier特任教授採用。兼任教員に追加。
- ・Yang Hongsuk特任教授採用。兼任教員に追加。
- ・Sumiyama Allan非常勤講師採用。兼任教員に追加。
- ・平成30年9月藤本隆宏非常勤講師に採用。兼任教員に追加。

【令和2年度】

- ・令和2年3月31日付け伊藤友則教授定年退職により、令和2年4月1日から特任教授に就任（再雇用）。
- ・令和元年9月梅澤高明特任教授に採用。兼任教員に追加。
- ・令和元年11月Royanne Doi非常勤講師に採用。兼任教員に追加。
- ・令和元年11月Andrew W. Silberman特任教授に採用。兼任教員に追加。
- ・令和元年9月Christina L. Ahmadjian教授を兼担教員に追加。
- ・令和2年5月生野由紀非常勤講師に採用。兼任教員に追加。
- ・令和2年6月山川恭弘特任教授に採用。兼任教員に追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等
(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
11	6	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
9	6	1	0	16	0	7	6	1	0	14	0
(7)	(6)	(1)	(0)	(14)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				
16	0	0			14	0	0				
(7)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
7	6	1	0	14	0	8	6	2	0	16	0
[△2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[+1]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				
14	0	0			16	0	0				
[△2]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]				

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
63	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{16} = \boxed{87.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授 （契約職員）	Michael John Korver	H30.3	選択	Business Ethics	②	H30.3.31付け辞職のため辞任（30）				
				選択	Global Network Project	②					
				選択	Making Decisions for Shared Value	②					
				選択	Mastery Immersion II	②					
				選択	Independent Research	②					
2	特任教授	名和 高司	H30.3	選択	Corporate Governance	②	H30.3.31付け辞職のため辞任（30）				
				選択	Mastery Immersion I	②					
				選択	Independent Research	②					
				選択	Corporate Entrepreneurship	②					
合計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	0	科目	必修	科目
		選択	9	科目	選択	科目	選択	9	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	0	科目	自由	科目
		計	9	科目	計	0	科目	計	9	科目	計

- （注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人		必修		科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
			選択		科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
			自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- （注）・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	9	科目	選択	0	科目	選択	9	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	0	科目	計	9	科目	計	0	科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

2

16

=

12.5

%

- （注）・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	伊藤 友則	選択		Corporate Finance I	①	R2.3.31付け63歳で定年退職（2）				
			選択		Financing for Growth and Sustainability	①					
			選択		Mastery Immersion III	①					
			選択		Independent Research	①					
			選択		Applied Corporate Finance	①					
			選択		Seminar I	①					
			選択		Seminar II	①					
			選択		Management Essentials	①					
			選択		Mastery Launch Pad	①					
合計						後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修		科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択		科目	選択	9 科目	選択	科目	選択	科目	
		自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	9	科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生への周知については、担当教員からの担当講義での周知、事務室からの案内、シラバス等で周知を行った。
担当科目については、他の教員が担当するか引き続き当該教員が兼任教員として担当し、演習指導についても他の専任教員への変更を行ったため、学生への影響は少ない。
また、定年により退職した専任教員（教授）については、定年退職後も当該教員が特任教授として引き続き講義及び演習指導を行うため、学生への影響はない。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	・専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。 (経営管理研究科国際企業戦略専攻(P))	指摘事項 (改善) ・減少している2名の専任教員について、job talk等の教員獲得努力の活動を経て、1名については現在、研究科内の専攻教授会で採用審査中、もう1名に関しては4月末日締め切りで公募し、公募終了後速やかに採用審査を開始している。現在、研究科内の専攻教授会で審査中であり、結果として令和2年10月までに2名の専任教員を補充する予定である。なお、審査スケジュールは以下のとおり。 ・専任教員1名(教授) 令和2年3月4日 審査開始 令和2年6月中旬 採用決定予定 令和2年7月1日採用予定 ・専任教員1名(講師) 令和2年5月13日 審査開始 令和2年8月下旬 採用決定予定 令和2年10月1日採用予定	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営管理研究科 国際企業戦略専攻 専門職学位課程>

(1) 設置計画変更事項

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 [MBAコース] 2年プログラム 56単位以上 コア科目から18科目34単位、選択科目から8科目16単位以上、特別科目から3科目6単位以上 [EMBAコース] 30単位 コア科目から16科目26単位、特別科目の2科目4単位	① MBAプログラムの独自性を高めるため、コア科目を19科目37単位、選択科目を13単位以上、特別科目を6単位以上に変更。 EMBAプログラムをより受講者のニーズに対応させるため、コア科目を15科目25単位、特別科目を2科目5単位に変更。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・ FDの一環としてThought Leadership開発のための体制をプログラム内に構築（規程等はなし） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・ 専門の担当職員を採用し、教員個々に国際的な研究活動活性化のための個別指導を開始している。 c 委員会の審議事項等 ・ 個々の教員の能力開発のための具体的なアドバイス（投稿すべき査読付き雑誌の具体的な紹介）を提供。 ② 実施状況 a 実施内容 （1）毎年、教員2名をハーバード大学で行われるFDセミナーに派遣 （2）教員間の授業参観の実施 （3）教育のデジタル化を推進するための勉強会開催 b 実施方法 ・ 上記（1）に関しては、Global Colloquium: Participant-centered learning programへ毎年2名の教員を派遣（自己資金の活用） ・ 上記（3）に関しては、全教員、全スタッフ参加のワークショップを開催 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 上記（1）に関しては、毎年2名の教員を派遣 ・ 上記（3）に関しては、出張中の者等を除き、専攻担当全教員が参加 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 派遣の成果をTeaching Evaluationのポイント向上でフォローアップ ・ 研修の内容を踏まえて、各教員が自身の担当科目での改善に努めている。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・ 各学期の授業終了後に実施 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 教員へはメールにてアンケート結果の詳細を送付、学生へは学習管理システムにて結果の概要を公開。
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

- ・一橋大学学則第40条の2において教育課程連携協議会の設置を定め、一橋大学大学院経営管理研究科国際企業戦略専攻教育課程連携協議会内規第3条で組織を定めており、現在、3名（一橋大学経営管理研究科国際企業戦略専攻長・教授（議長）1名、日本の民間企業の代表取締役1名、海外のビジネススクールの教授・前学長1名）の委員で構成されている。
なお、設置当初より委員の交代はなし。

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

- ・令和2年3月18日（水）

c 委員会の審議事項等

- ・産業界等との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項。
- ・産業界等との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

d その他

- ・次回開催は令和2年9月を予定。

② 審議状況

a 審議した内容

- ・MBAプログラム及びEMBAプログラムの授業科目の編成について

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

- ・現在検討中

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

- ・現在検討中

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 ※ 該当なし

② 自己点検・評価報告書 ※ 該当なし

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 評価機関（The Association to Advance Collegiate Schools of Business（AACSB））の評価を2015年度～2020年度に受審中
- ・ 令和3年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の機関別認証評価を受けるべく、検討中
- ・ 令和3年度にABESTの専門職大学院認証評価についてその後の改善状況を審査予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 一橋大学

(2) 大 学 名
一橋大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒186-8601
東京都国立市中2-1
〒101-8439
東京都千代田区一ツ橋2-1-2

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(タデヌマ コウイチ) 蓼沼 宏一 (平成26年12月)		
学 部 長	(ハチヤ トヨヒコ) 蜂谷 豊彦 (平成30年4月)	(タナカ カズヒロ) 田中 一弘 (平成31年1月)	前任の研究科長が副学長に就任したことに伴う交代 (平成31年1月1日(元))

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経営管理研究科 国際企業戦略専攻 (博士後期課程) 博士(経営)	経済学関係	3年	4人	— 年次人	12人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から報 告年度までの平 均入学定員超過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 人 4 (-) [-]		人 人 4 (-) [-]		人 人 4 (-) [-]		1.00倍	—	秋季入学試験 のみ実施
志願者数	— (-) [-]	6 (-) [1]	— (-) [-]	4 (-) [1]	— (-) [-]	未定 () []			
受験者数	— (-) [-]	6 (-) [1]	— (-) [-]	4 (-) [1]	— (-) [-]	未定 () []			
合格者数	— (-) [-]	4 (-) [-]	— (-) [-]	4 (-) [1]	— (-) [-]	未定 () []			
B 入学者数	— (-) [-]	4 (-) [-]	— (-) [-]	4 (-) [1]	— (-) [-]	未定 () []			
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		未定				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
			春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次			－ [ー] (－)	4 [ー] (－)	－ [ー] (－)	4 [1] (－)	－ [ー] (－)	4 [1] (－)	秋季入学試験のみ実施
2 年次					－ [ー] (－)	4 [ー] (－)	－ [ー] (－)	4 [ー] (－)	
3 年次							－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	
計			4 [ー] (ー)		8 [1] (ー)		8 [1] (ー)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	4 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	8 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	8 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	秋季入学試験のみ実施のため、該当者なし
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営管理研究科 国際企業戦略専攻 博士後期課程>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
必修科目	Research Method	1①	2				1				
	Advanced Research Positioning I A	1①～②	1			1					
	Advanced Research Positioning I B	1③～④	1			1					
	Advanced Research Positioning II A	2①～②	1			1					
	Advanced Research Positioning II B	2③～④	1			1					
	小計(5科目)										
選択科目	Advanced Research Method - Quantitative Approach	1・2・3②		2		1					
	Advanced Research Method - Qualitative Approach	1・2・3③		2			1				
	Advanced Research Method - Experimental Approach	1・2・3④		2							1
	Advanced Research Method - Data Analysis	1・2・3①～③		2							1
	Advanced Research Method - Modelling	1・2・3④		2		1					
	小計(5科目)										
特別科目	Research Positioning I A	1①～②	1			1					
	Research Positioning I B	1③～④	1			1					
	Research Positioning II A	2①～②	1			1					
	Research Positioning II B	2③～④	1			1					
	Research Positioning III A	3①～②	1			1					
	Research Positioning III B	3③～④	1			1					
	Seminar A	1①～④	4			3	2				
	Seminar B	2①～④	4			3	2				
	Seminar C	3①～④	4			3	2				
	小計(9科目)										
合計(19科目)			-								
卒業要件及び履修方法											
3年以上在学し、必修科目から5科目6単位、選択科目から1科目2単位以上、特別科目の9科目18単位、合計26単位以上を修得すること。											

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
必修科目	Research Method	1①	2					1			
	Advanced Research Positioning I A	1①～②	1			1					
	Advanced Research Positioning I B	1③	1			1					
	Advanced Research Positioning II A	2①～②	1			1					
	Advanced Research Positioning II B	2③	1			1					
	小計(5科目)										
選択科目	Advanced Research Methods - Quantitative	1・2・3①		2		1					
	Advanced Research Methods - Qualitative	1・2・3①～②		2							1
	Advanced Research Methods - Experimental	1・2・3③～④		2							1
	Advanced Research Methods - Data Analysis	1・2・3②		2							1
	Advanced Research Methods - Modelling	1・2・3③～④		2		1					
	Advanced Research Methods - Qualitative 2 (未開講)	1・2・3②		2							
	Strategy(未開講)	1・2・3③～④		2							
	Advanced Research Methods - Quantitative 2	1・2・3①		2			1				
	小計(8科目)										
特別科目	Research Positioning I A	1①～②	1			1					
	Research Positioning I B	1③	1			1					
	Research Positioning II A	2①～②	1			1					
	Research Positioning II B	2③	1			1					
	Research Positioning III A	3①～②	1			1					
	Research Positioning III B	3③	1			1					
	Seminar A	1①～④	4			3	2	1			
	Seminar B	2①～④	4			3	2	1			
	Seminar C	3①～④	4			3	2	1			
合計(22科目)			-								
卒業要件及び履修方法											
3年以上在学し、必修科目から5科目6単位、選択科目から1科目2単位以上、特別科目の9科目18単位、合計26単位以上を修得すること。											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	Research Method	1①	2				1				
	Advanced Research Positioning I A	1①～②	1			1					
	Advanced Research Positioning I B	1③～④	1			1					
	Advanced Research Positioning II A	2①～②	1			1					
	Advanced Research Positioning II B	2③～④	1			1					
	小計(5科目)										
	Advanced Research Method - Quantitative Approach	1・2・3②		2		1					
	Advanced Research Method - Qualitative Approach	1・2・3③		2			1				
選択科目	Advanced Research Method - Experimental Approach	1・2・3④		2							1
	Advanced Research Method - Data Analysis	1・2・3①～④		2							1
	Advanced Research Method - Modelling	1・2・3④		2		1					
	小計(5科目)										
	Research Positioning I A	1①～②	1			1					
特別科目	Research Positioning I B	1③～④	1			1					
	Research Positioning II A	2①～②	1			1					
	Research Positioning II B	2③～④	1			1					
	Research Positioning III A	3①～②	1			1					
	Research Positioning III B	3③～④	1			1					
	Seminar A	1①～④	4			3	2				
	Seminar B	2①～④	4			3	2				
	Seminar C	3①～④	4			3	2				
	小計(9科目)										
	合計(19科目)	—									
卒業要件及び履修方法											
3年以上在学し、必修科目から5科目6単位、選択科目から1科目2単位以上、特別科目の9科目18単位、合計26単位以上を修得すること。											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	Research Method	1①	2					1			
	Advanced Research Positioning I A	1①～②	1			1					
	Advanced Research Positioning I B	1③～④	1			1					
	Advanced Research Positioning II A	2①～②	1			1					
	Advanced Research Positioning II B	2③～④	1			1					
	小計(5科目)										
	Advanced Research Methods - Quantitative	1・2・3①		2		1					
	Advanced Research Method - Qualitative Approach (未開講)	1・2・3③		2			1				
選択科目	Advanced Research Methods - Experimental	1・2・3④		2							1
	Advanced Research Methods - Data Analysis	1・2・3①～④		2							1
	Advanced Research Methods - Modelling	1・2・3④		2		1					
	Advanced Research Methods - Qualitative 2 Strategy	1・2・3②		2			1				
	小計(7科目)										
特別科目	Research Positioning I A	1①～②	1			1					
	Research Positioning I B	1③～④	1			1					
	Research Positioning II A	2①～②	1			1					
	Research Positioning II B	2③～④	1			1					
	Research Positioning III A	3①～②	1			1					
	Research Positioning III B	3③～④	1			1					
	Seminar A	1①～④	4			3					1
	Seminar B	2①～④	4				1	1	1		
	Seminar C	3①～④	4				2	1			
	小計(9科目)										
合計(21科目)											
卒業要件及び履修方法											
3年以上在学し、必修科目から5科目6単位、選択科目から1科目2単位以上、特別科目の9科目18単位、合計26単位以上を修得すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

特になし。

【令和元年度】

- 教育内容に鑑み、次の授業科目の名称をより適切な名称に変更する。
「Advanced Research Method - Quantitative Approach」を「Advanced Research Methods - Quantitative」に変更。
「Advanced Research Method - Experimental Approach」を「Advanced Research Methods - Experimental」に変更。
「Advanced Research Method - Data Analysis」を「Advanced Research Methods - Data Analysis」に変更。
「Advanced Research Method - Modelling」から「Advanced Research Methods - Modelling」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、次の科目を追加で開講する。
・ Advanced Research Methods - Qualitative 2
・ Strategy
- 教育内容に鑑み、次の科目について適切な開講時期へ調整する。
「Advanced Research Method - Quantitative」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3①」へ変更。
「Advanced Research Method - Data Analysis」の配当年次を「1・2・3①～④」から「1・2・3②」へ変更。
「Advanced Research Method - Modelling」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3①～④」へ変更。
- 担当教員見直しのため、次の科目の教員配置を変更する。
「Research Method」の教員配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
「Seminar A」の教員配置を「教授3・准教授2」から「教授3・兼任・兼任1」に変更。
「Seminar B」の教員配置を「教授3・准教授2」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
「Seminar C」の教員配置を「教授3・准教授2」から「教授2・准教授1」に変更。

【令和2年度】

- 教育内容に鑑み、次の授業科目の名称をより適切な名称に変更する。
「Advanced Research Method - Quantitative Approach」を「Advanced Research Methods - Quantitative」に変更。
「Advanced Research Method - Qualitative Approach」を「Advanced Research Methods - Qualitative」に変更。
「Advanced Research Method - Experimental Approach」を「Advanced Research Methods - Experimental」に変更。
「Advanced Research Method - Data Analysis」を「Advanced Research Methods - Data Analysis」に変更。
「Advanced Research Method - Modelling」から「Advanced Research Methods - Modelling」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、次の科目を追加で開講する。
・ Advanced Research Methods - Qualitative 2
・ Strategy
・ Advanced Research Methods - Quantitative 2
- 教育内容に鑑み、次の科目について適切な開講時期へ調整する。
「Advanced Research Positioning IB」の配当年次を「1③～④」から「1③」へ変更。
「Advanced Research Positioning IIB」の配当年次を「2③～④」から「2③」へ変更。
「Advanced Research Method - Quantitative Approach」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3①」へ変更。
「Advanced Research Method - Qualitative Approach」の配当年次を「1・2・3③」から「1・2・3①～②」へ変更。
「Advanced Research Method - Experimental Approach」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3③～④」へ変更。
「Advanced Research Method - Data Analysis」の配当年次を「1・2・3①～④」から「1・2・3②」へ変更。
「Advanced Research Method - Modelling」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3①～④」へ変更。
「Research Positioning IB」 「1③～④」から「1③」へ変更。
「Research Positioning IIB」 「2③～④」から「2③」へ変更。
「Research Positioning IIIB」 「3③～④」から「3③」へ変更。
- 担当教員見直しのため、次の科目の教員配置を変更する。
「Research Method」の教員配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
「Advanced Research Method - Qualitative Approach」の教員配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
「Seminar A」の教員配置を「教授3・准教授2」から「教授3・准教授2・講師1」に変更。
「Seminar B」の教員配置を「教授3・准教授2」から「教授3・准教授2・講師1」に変更。
「Seminar C」の教員配置を「教授3・准教授2」から「教授3・准教授2・講師1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	5 科目	0 科目	19 科目	14 科目 []	8 科目 [3]	0 科目 []	22 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	Advanced Research Methods - Qualitative 2	2	1・2・3 ②	専門	選択	Advanced Research Methods - Qualitative を代替科目として開講するため、今年度は開講しない。
2	Strategy	2	1・2・3 ①～②	専門	選択	Advanced Research Methods - Quantitative 2 を代替科目として開講するため、今年度は開講しない。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

9月の年度当初の履修に係るオリエンテーションの際に、1年間の開講科目について学生へ周知するとともに、メール及びポータルサイトでも発信している。なお、学生へ周知済みの科目についてはすべて開講している。また毎学期ごとに翌学期の開講授業についてのオリエンテーションを行ない、学生への授業科目については常に最新の情報を事前に提供している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目（3）と廃止科目（4）の計	=	$\frac{2}{19}$	=	10.52 %
設置時の計画の授業科目数の計（A）				

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分			内 容					備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計	大学全体 小平体育施設 自転車移動30分 校地等整理のため(元)			
	校 舎 敷 地	182,783㎡	㎡	㎡		182,783㎡				
	運動場用地	159,147㎡	㎡	㎡		159,147㎡				
	小 計	341,935㎡	㎡	㎡		341,935㎡				
	そ の 他	86,091㎡ 80,386㎡	㎡	㎡		86,091㎡ 80,386㎡				
	合 計	428,026㎡ 431,321㎡	㎡	㎡		428,026㎡ 431,321㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計	大学全体			
		167,584㎡	㎡	㎡		167,584㎡				
		167,584㎡	(㎡)	(㎡)		167,584㎡				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 教室等用途変更・整理のため(2)			
		78室 80室	104室 103室	10室	2室 (補助職員 0人)	5室 4室 (補助職員 1人)				
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		平成30年3月31日付で教授(契約)1名、特任教授1名が退職したため(元)			
		経営管理研究科 国際企業戦略専攻(博士後期課程)			14 16 室					
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 電子ジャーナルは、その時点で利用可能なタイトル数であり、必ずしも永続的に所蔵しているものではない。 購入・廃棄等のため(2)		
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル						
		冊	種	〔うち外国書〕					点	点
	大学全体	2,755,754 [1,290,145] 2,752,148 [1,286,367] (2,755,754 [1,290,145]) (2,733,018 [1,280,571])	24,758 [14,414] 24,771 [14,418] 24,758 [14,414] 24,771 [14,418]	25,165 [25,074] 22,126 [22,034] 25,165 [25,074] 22,126 [22,034]	552 565 (552) (555)	497 498 497 (498)	0 0			
計	2,755,754 [1,290,145] 2,752,148 [1,286,367] (2,755,754 [1,290,145]) (2,733,018 [1,280,571])	24,758 [14,414] 24,771 [14,418] 24,758 [14,414] 24,771 [14,418]	25,165 [25,074] 22,126 [22,034] 25,165 [25,074] 22,126 [22,034]	552 565 (552) (555)	497 498 497 (498)	0 0				
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 故障中の座席修理・書架の増設のため(2)		
		21,952㎡		858 853		2,912,111 2,910,833				
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				研究科単位での特定不能なため、大学全体の数		
		5,950㎡		陸上競技場、ラグビー場、野球場、サッカー場、テニスコート、ホッケー場、弓道場、空手道場、武道場 等						
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		教員1人当り研究費等		千円	千円	図書購入費		千円		千円
		共同研究費等		千円	千円	設備購入費		千円		千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	一 橋 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
(学部)											
商学部											
経営学科	4	137	—	548	学士 (商学)	1.06	1.05	—	昭和50	東京都国立市中2-1	
商学科	4	138	—	552	学士 (商学)	1.06	1.05	—	昭和50	東京都国立市中2-1	
経済学部											
経済学科	4	275	—	1100	学士 (経済学)	1.04	1.08	—	平成10	東京都国立市中2-1	
法学部											
法律学科	4	170	—	680	学士 (法学)	1.05	1.07	—	平成11	東京都国立市中2-1	
社会学部											
社会学科	4	235	—	940	学士 (社会学)	1.08	1.08	—	平成12	東京都国立市中2-1	
大学全体	—	955	—	3820	—	—	—	—	—	—	
(大学院)											
経営管理研究科											
修士課程											
経営管理専攻	2	159	—	318	修士 (商学) (経営)	1.04	1.06	—	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
専門職学位課程											
国際企業戦略専攻	2又は1	58	—	116	経営修士 (専門職)	0.96	—	—	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	秋入学のみ実施
博士後期課程											
経営管理専攻	3	26	—	78	博士 (商学) (経営)	0.89	0.81	—	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
国際企業戦略専攻	3	4	—	12	博士 (経営)	1.00	—	—	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	秋入学のみ実施
商学研究科											
修士課程											
経営・マーケティング専攻	2	—	—	—	修士 (商学) (経営)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
会計・金融専攻	2	—	—	—	修士 (商学) (経営)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
博士後期課程											
経営・マーケティング専攻	3	—	—	—	博士 (商学)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
会計・金融専攻	3	—	—	—	博士 (商学)	—	—	—	平成19	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止

経済学研究科											
修士課程											
総合経済学専攻	2	82	—	164	修士 (経済学)	1.08	1.11	—	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
経済理論・経済統計専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
応用経済専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
経済史・地域経済専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成10	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
比較経済・地域開発専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成7	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
博士後期課程											
総合経済学専攻	3	22	二	66	博士 (経済学)	0.48	0.41	二	平成30	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
経済理論・経済統計専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
応用経済専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成9	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
経済史・地域経済専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成10	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
比較経済・地域開発専攻	3	—	—	—	博士 (経済学)	—	—	—	平成7	東京都国立市中2-1	平成30年より学生募集停止
法学研究科											
修士課程											
法学・国際関係専攻	2	15	—	30	修士 (法学)	1.47	1.47	—	平成16	東京都国立市中2-1	
ビジネスロー専攻	2	36	—	72	修士 (経営法)	0.80	0.91	—	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
専門職学位課程											
法務専攻	3	85	—	255	法務博士 (専門職)	1.05	1.02	—	平成16	東京都国立市中2-1	
博士後期課程											
法学・国際関係専攻	3	26	—	78	博士 (法学)	0.46	0.73	—	平成16	東京都国立市中2-1	
ビジネスロー専攻	3	12	二	36	博士 (経営法)	0.72	0.50	二	平成30	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
社会学研究科											
修士課程											
地球社会研究専攻	2	20	—	40	修士 (社会学)	0.88	0.8	—	平成9	東京都国立市中2-1	
総合社会科学専攻	2	70	—	140	修士 (社会学)	0.87	0.95	—	平成12	東京都国立市中2-1	
博士後期課程											
地球社会研究専攻	3	6	—	18	博士 (社会学)	0.68	0.51	—	平成9	東京都国立市中2-1	
総合社会科学専攻	3	35	—	105	博士 (社会学)	0.94	1	—	平成12	東京都国立市中2-1	
言語社会研究科											
修士課程											
言語社会専攻	2	49	—	98	修士 (学術)	0.81	0.77	—	平成8	東京都国立市中2-1	
博士後期課程											
言語社会専攻	3	21	—	63	博士 (学術)	0.84	0.71	—	平成8	東京都国立市中2-1	
国際企業戦略研究科											
専門職学位課程											
経営・金融専攻	2又は1	—	—	—	経営修士 (専門職)	—	—	—	平成15	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止
修士課程											
経営法務専攻	2	—	—	—	修士 (経営法)	—	—	—	平成17	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止
博士後期課程											
経営・金融専攻	3	—	—	—	博士 (経営)	—	—	—	平成11	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止
経営法務専攻	3	—	—	—	博士 (経営法)	—	—	—	平成17	東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	平成30年より学生募集停止

国際・公共政策教育部 専門職学位課程											
国際・公共政策専攻	2又は1	55	—	110	国際・行政 修士（専門 職） 公共経済修 士（専門	1.16	1.17	—	平成17	東京都国立市中2-1 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	
大学院全体	—	781	—	1799	—	—	—	—	—	—	

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<経営管理研究科 国際企業戦略専攻 博士後期課程>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一條 和生 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
専	教授	楠木 建 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
専	教授	阿久津 聡 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Research Positioning I A Research Positioning I B Research Positioning II A Research Positioning II B Research Positioning III A Research Positioning III B Seminar A Seminar B Seminar C
専	教授	大藁 恵美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
専	教授	伊藤 友則 ＜平成29年 4 月＞ 経営管理学修士
専	教授	岡田 英理香 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Advanced Research Positioning I A Advanced Research Positioning I B Advanced Research Positioning II A Advanced Research Positioning II B Advanced Research Method - Modelling Seminar A Seminar B Seminar C
専	教授	小野 浩 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Advanced Research Method - Quantitative Approach Seminar A Seminar B Seminar C
専	准教授	大上 慎吾 ＜平成29年 4 月＞ 統計学博士
専	准教授	Patricia Robinson ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Seminar A Seminar B Seminar C
専	准教授	藤川 佳則 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
専	准教授	古賀 健太郎 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一條 和生 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
専	教授	楠木 建 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
専	教授	阿久津 聡 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Research Positioning I A Research Positioning I B Research Positioning II A Research Positioning II B Research Positioning III A Research Positioning III B Seminar A Seminar B Seminar C
専	教授	大藁 恵美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
専	教授	伊藤 友則 ＜平成29年 4 月＞ 経営管理学修士
専	教授	岡田 英理香 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Advanced Research Positioning I A Advanced Research Positioning I B Advanced Research Positioning II A Advanced Research Positioning II B Advanced Research Method - Modelling Seminar A Seminar B Seminar C
専	教授	小野 浩 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Advanced Research Method - Quantitative Approach Seminar A Seminar B Seminar C
専	准教授	大上 慎吾 ＜平成29年 4 月＞ 統計学博士
専	准教授	Patricia Robinson ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Seminar A Seminar B Seminar C
専	准教授	藤川 佳則 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
専	准教授	古賀 健太郎 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一條 和生 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
専	教授	楠木 建 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
専	教授	阿久津 聡 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Research Positioning I A Research Positioning I B Research Positioning II A Research Positioning II B Research Positioning III A Research Positioning III B Seminar A Seminar B Seminar C
専	教授	大藁 恵美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
専	教授	伊藤 友則 ＜平成29年 4 月＞ 経営管理学修士
専	教授	岡田 英理香 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Advanced Research Positioning I A Advanced Research Positioning I B Advanced Research Positioning II A Advanced Research Positioning II B Advanced Research Methods - Modelling Seminar A
専	教授	小野 浩 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Advanced Research Methods - Quantitative Seminar A
専	准教授	大上 慎吾 ＜平成29年 4 月＞ 統計学博士
専	准教授	Patricia Robinson ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Seminar B Seminar C
専	准教授	藤川 佳則 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
専	准教授	古賀 健太郎 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一條 和生 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
専	教授	楠木 建 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
専	教授	阿久津 聡 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Research Positioning I A Research Positioning I B Research Positioning II A Research Positioning II B Research Positioning III A Research Positioning III B Seminar A Seminar B Seminar C
専	教授	大藁 恵美 ＜平成29年 4 月＞ 商学博士
専	特任教授	伊藤 友則 ＜平成29年 4 月＞ 経営管理学修士
専	教授	岡田 英理香 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Advanced Research Positioning I A Advanced Research Positioning I B Advanced Research Positioning II A Advanced Research Positioning II B Advanced Research Methods - Modelling Seminar A Seminar B Seminar C
専	教授	小野 浩 ＜平成29年 4 月＞ 博士
		Advanced Research Methods - Quantitative Seminar A Seminar B Seminar C
専	准教授	大上 慎吾 ＜平成29年 4 月＞ 統計学博士
		Advanced Research Methods - Quantitative 2
専	准教授	Patricia Robinson ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Seminar A Seminar B Seminar C
専	准教授	藤川 佳則 ＜平成29年 4 月＞ 商学修士
専	准教授	古賀 健太郎 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	孫 康勇 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士	専	准教授	孫 康勇 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士	専	准教授	孫 康勇 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士	専	准教授	孫 康勇 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Seminar A Seminar B Seminar C			Seminar A Seminar B Seminar C			Advanced Research Methods - Qualitative 2 Seminar C			Seminar A Seminar B Seminar C
専	准教授	鈴木 智子 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士	専	准教授	鈴木 智子 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士	専	准教授	鈴木 智子 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士	専	准教授	鈴木 智子 ＜平成29年 4 月＞ 経営学博士
		Advanced Research Method - Qualitative Approach			Advanced Research Method - Qualitative Approach						
専	講師	PARK JIN SUK ＜平成29年 4 月＞ 国際経営学博士	専	講師	PARK JIN SUK ＜平成29年 4 月＞ 国際経営学博士	専	講師	PARK JIN SUK ＜平成29年 4 月＞ 国際経営学博士	専	講師	PARK JIN SUK ＜平成29年 4 月＞ 国際経営学博士
		Research Method			Research Method			Research Method Seminar B			Research Method Seminar A Seminar B Seminar C
専	教授（契約職員）	Michael John Korver ＜平成29年 4 月＞	兼任	非常勤講師	Michael John Korver ＜平成29年 4 月＞						
専	特任教授	名和 高司 ＜平成29年 4 月＞	兼任	客員教授（非常勤講師）	名和 高司 ＜平成29年 4 月＞	兼任	客員教授（非常勤講師）	名和 高司 ＜平成29年 4 月＞	兼任	客員教授（非常勤講師）	名和 高司 ＜平成29年 4 月＞
兼任	特任教授	増田 貴彦 ＜平成29年 4 月＞	兼任	特任教授	増田 貴彦 ＜平成29年 4 月＞	兼任	特任教授	増田 貴彦 ＜平成29年 4 月＞	兼任	特任教授	増田 貴彦 ＜平成29年 4 月＞
		Advanced Research Method - Experimental Approach			Advanced Research Method - Experimental Approach			Advanced Research Methods - Experimental			Advanced Research Methods - Experimental
兼任	非常勤講師	木村 裕珠 ＜平成29年 4 月＞	兼任	非常勤講師	井上 裕珠 ＜平成29年 4 月＞						
		Advanced Research Method - Data Analysis			Advanced Research Method - Data Analysis						
									兼任	非常勤講師	伊藤 言 ＜平成 2 年 1 月＞
											Advanced Research Methods - Data Analysis
			兼任	特任講師	LEE JIN JU ＜平成30年 9 月＞	兼任	特任講師	LEE JIN JU ＜平成30年 9 月＞	兼任	特任講師	LEE JIN JU ＜平成30年 9 月＞
								Strategy Seminar A			Advanced Research Methods - Qualitative

（注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ー②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年9月Lee Jin Ju特任講師採用。兼任教員に追加。

【令和元年度】

- ・平成31年3月井上裕珠非常勤講師任期満了退職。

【令和2年度】

- ・令和2年3月31日付け伊藤友則教授定年退職により、令和2年4月1日から特任教授に就任（再雇用）。
- ・令和2年1月伊藤言非常勤講師に採用。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等
(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
5	4	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
9	6	1	0	16	0	7	6	1	0	14	0
(7)	(6)	(1)	(0)	(14)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
12	4	0				10	4	0			
(10)	(4)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
7	6	1	0	14	0	8	6	2	0	16	0
[△2]	[0]	[0]	[0]	[△2]	[0]	[△1]	[0]	[+1]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
10	4	0				12	4	0			
[△2]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
63	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{16} = \boxed{87.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授 （契約職員）	Michael John Korver	H30.3	必修	なし	③	H30.3.31付け辞職のため辞任（30）				
				選択	なし	③					
				自由	なし	③					
2	特任教授	名和 高司	H30.3	必修	なし	③	H30.3.31付け辞職のため辞任（30）				
				選択	なし	③					
				自由	なし	③					
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2人			必修	科目		必修	科目	必修	科目	必修	科目
			選択	科目		選択	科目	選択	科目	選択	科目
			自由	科目		自由	科目	自由	科目	自由	科目
			計	0 科目		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 ※該当なし

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合 計（ F ）						後任補充状況の集計（ G ）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（ a ） + （ b ） + （ c ）			①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）	
人			必修		科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
			選択		科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
			自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
2	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)－③合計(D)+(F)}{(2)－②設置時の計画(A)} = \frac{2}{16} = 12.5 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	伊藤 友則	必修	なし	③	R2. 3. 31付け63歳で定年退職（2）				
			選択	なし	③					
			自由	なし	③					
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
			選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
			自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
			計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和2年3月31日付けで専任教員1名（教授）が定年により退職したが、令和2年度においては担当予定科目がないため、学生の履修等への影響はない。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	・専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。 (経営管理研究科国際企業戦略専攻(D))	指摘事項 (改善) ・減少している2名の専任教員について、job talk等の教員獲得努力の活動を経て、1名については現在、研究科内の専攻教授会で採用審査中、もう1名に関しては4月末日締め切りで公募し、公募終了後速やかに採用審査を開始している。現在、研究科内の専攻教授会で審査中であり、結果として令和2年10月までに2名の専任教員を補充する予定である。なお、審査スケジュールは以下のとおり。 ・専任教員1名(教授) 令和2年3月4日 審査開始 令和2年6月中旬 採用決定予定 令和2年7月1日採用予定 ・専任教員1名(講師) 令和2年5月13日 審査開始 令和2年8月下旬 採用決定予定 令和2年10月1日採用予定	履行中

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営管理研究科 国際企業戦略専攻 博士後期課程>

(1) 設置計画変更事項等 ※ 該当なし

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況
 - ・ FDの一環としてThought Leadership開発のための体制をプログラム内に構築（規程等はなし）
 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 専門の担当職員を採用し、教員個々に国際的な研究活動活性化のための個別指導を開始している。
 - c 委員会の審議事項等
 - ・ 個々の教員の能力開発のための具体的なアドバイス（投稿すべき査読付き雑誌の具体的な紹介）を提供。
- ② 実施状況
- a 実施内容
 - （1）毎年、教員2名をハーバード大学で行われるFDセミナーに派遣
 - （2）教員間の授業参観の実施
 - （3）教育のデジタル化を推進するための勉強会開催
 - b 実施方法
 - ・ 上記（1）に関しては、Global Colloquium: Participant-centered learning programへ毎年2名の教員を派遣（自己資金の活用）
 - ・ 上記（3）に関しては、全教員、全スタッフ参加のワークショップを開催
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 上記（1）に関しては、毎年2名の教員を派遣
 - ・ 上記（3）に関しては、出張中の者等を除き、専攻担当全教員が参加
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 派遣の成果をTeaching Evaluationのポイント向上でフォローアップ
 - ・ 研修の内容を踏まえて、各教員が自身の担当科目での改善に努めている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 各学期の授業終了後に実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 教員へメールにてアンケート結果の詳細を送付

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※ 該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 ※ 該当なし

② 自己点検・評価報告書 ※ 該当なし

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 評価機関（The Association to Advance Collegiate Schools of Business（AACSB））の評価を
2015年度～2020年度に受審中
- ・ 令和3年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、検討中
- ・ 令和3年度にABESTの専門職大学院認証評価についてその後の改善状況を審査予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。